

第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の評価について

	基本方針1～6評価(集計)						総事業数 【再掲】含む	165	指標あり事業数			79
							指標なし事業数			86		
評点 (指標あり事業)	S	59	A	14	B	2	C	5	D	0	E	0
進捗状況 (指標なし事業)	①予定より早まっている	2	②予定どおり進んでいる	78	③予定より遅れている	9	④予定より大幅に遅れている	0	⑤未実施	2	Z	3

各事業の評価方法について

(1) 指標の設定がある事業

指標の設定がある事業の評価は、事務事業評価（業務棚卸評価）と同様の評価指標を基に行います。評点は、評価の指標の達成状況や成果等を踏まえ、S、A、B、C、D、Eの6段階で評価し、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進に向け具体的に取組んだことや、そのことによる効果及び今後の取組について具体的に記載します。

【評価の基準】

取組に対する分析	事業の指標の達成状況	当該事務事業の実施状況
S 事業の指標を概ね達成し、成果があった。	目標値の80%以上を達成している。	事務事業の目的の達成に向けて、すでに成果が出ている。
A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあった。	目標値の80%以上を達成していない。	事務事業の目的の達成に向けて、すでに成果が出ている。
B 事業の指標は概ね達成し、成果は今後見込める。	目標値の80%以上を達成している。	事務事業の目的の達成に向けて、現時点では成果がでていないが、活動内容や方法の改善等により、今後成果が見込める。
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める。	目標値の80%以上を達成していない。	事務事業の目的の達成に向けて、現時点では成果がでていないが、活動内容や方法の改善等により、今後成果が見込める。
D 事業の指標は概ね達成したが、成果は見込めない。	目標値の80%以上を達成している。	事務事業の目的の達成に向けて、現時点では成果がでておらず、今後も成果が見込めない。
E 事業の指標は達成できず、成果も見込めない。	目標値の80%以上を達成していない。	事務事業の目的の達成に向けて、現時点では成果がでておらず、今後も成果が見込めない。
Z 未着手事業		

(2) 指標の設定がない事業

指標の設定がない事業の評価は、第6期計画の評価指標の取組に対する分析欄の評点は記載せず、評価及び今後の取組み、事業の進捗状況について記載します。高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進に向け具体的に取組んだことや、そのことによる効果及び今後の取組について具体的に記載します。

【事業の進捗状況】

- ① 予定より早まっている
- ② 予定どおり進んでいる
- ③ 予定より遅れている
- ④ 予定より大幅に遅れている
- ⑤ 未実施

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいがづくりの支援
 (1) 高齢者の社会参加の促進と地域活動の支援

掲載ページ	66	事務事業名	まなび人材事業		担当課	文化生涯学習課
事業内容	いろいろな分野で学習活動している方、しようとしている方を生涯学習における身近な支援者として登録していただき、学びたい方やグループなどに紹介します。高齢者の経験を生かせる、活動機会の提供を図ります。					
評価の指標	まなびの市民講師の登録数:27年度 82人 28年度 84人 29年度 86人					
27年度	目標値	82人	評点	C	評価	市民講師の登録者数は昨年度よりも減っているが、年度内の新規登録数は8件、依頼事業は192事業と例年と比較しても多く、市民講師の周知が出来てきている。
	実績	61人			今後の取組	現在登録しているまなびの市民講師の活動回数の増加及びまなびの市民講師登録者数の増加を図る。
28年度	目標値	84人	評点	C	評価	市民講師の登録者数は昨年度より3名増加した。年度内での新規登録数は6件、依頼事業は153事業であった。引き続きまなびの市民講師の事業周知を図っていく必要がある。
	実績	64人			実施して感じた課題	登録しているが活動していない講師も多く、活動数0の講師を減らすよう講師の活動支援に努める。また、まなびの市民講師登録者数の増加を目指すための市民周知活動にも注力する。
					今後の取組	現在登録しているまなびの市民講師の活動回数の増加及びイベント等で講師に出演していただき、まなびの市民講師登録者数の増加を図る。
その他(自由記載)						

掲載ページ	67	事務事業名	高齢者が活躍する事業		担当課	公民館
事業内容	地域の高齢者が公民館の事業において指導者として活躍し、子供たちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがいを作り出します。					
評価の指標	高齢者の指導する事業数:各年度8事業(25年度実績 8事業)					
27年度	目標値	8事業	評点	S	評価	高齢者が公民館事業において指導者として活躍したことで、子どもたちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがい創出へとつなげることができた。
	実績	小和田2事業 鶴嶺2事業 松林2事業 南湖2事業 香川2事業			今後の取組	今後も引き続き、高齢者が公民館事業において指導者として活躍することで、子どもたちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがい創出へとつなげていく。
28年度	目標値	鶴嶺2事業	評点	S	評価	高齢者が公民館事業において指導者として活躍したことで、子どもたちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがい創出へとつなげることができた。
	実績	小和田2事業 鶴嶺2事業 松林2事業 南湖2事業 香川2事業			実施して感じた課題	地域には人的資源が多々存在することを認識するとともに、今後もさらに資源発掘の必要性を感じている。【小和田】 小学生の遊びの変化(TVゲーム)や、勉強・習い事などに時間をついやしてしているのが参加者の減少の要因と思われる。【鶴嶺】 高齢者の学びに対するニーズを把握するためには、社会情勢やトレンドに敏感である必要がある。【松林】 新しい人材の掘り起しを進めるとともに、継続的に指導者として活躍する場へとつなげていく必要がある。【南湖】 高齢者対象の講座では、女性の参加者が多く、男性参加者を増やす必要がある。【香川】
					今後の取組	今後も引き続き、高齢者が公民館事業において指導者として活躍することで、子どもたちとふれあい、交流を図るとともに、高齢者の生きがい創出へとつなげていく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	67	事務事業名	セカンドライフのプラットフォーム	担当課	企画経営課
事業内容	セカンドライフにあたっての心構えや基礎知識等の基礎講座と具体的な生きがい就労先や活動先を想定した応用講座の2層の講座を開催します。また、高齢者を必要としている生きがい就労先や地域活動団体と高齢者の中で、就労先や地域活動団体が必要とされる人材と高齢者個々人の意向や能力との照らし合わせを行い、きめ細やかなマッチングを行います。そのほかに、高齢者のニーズに応じた生きがい就労先の発掘を行います。				
27年度	評価	セカンドライフセミナーは合計40人が受講し、受講者の満足度は高く、参加費用の設定に対しても妥当との意見が大半であった。また、生涯現役応援窓口は、6か月間で延べ244人が利用し、その活動希望先の約7割が就労であった。就労先の開拓も同時に行っており、結果として17名の就労が実現した。それぞれの取組が初年度であったが、これまでにない超高齢社会に対応した取組みをスタートすることができた。			
	今後の取組	セカンドライフセミナー受講者や生涯現役応援窓口における相談者へきめ細やかなフォローアップを行い、活動の場への支援を行う。また、それぞれの取組みについて周知が課題となっており、広報紙やホームページでのPRだけでなく、関係機関、民間事業者、地域での活動団体などと連携しながら本事業を推進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	セカンドライフセミナーは合計30人が受講し、受講者の満足度は高いものだった。セミナーへの誘導や活動への動機づけを目的とした啓発セミナーには55名の参加があった。また、生涯現役応援窓口は、延べ532人が利用し、結果として就労、ボランティア等を合わせて述べ115名のマッチングができた。			
	実施して感じた課題	セカンドライフセミナーの参加者数及び生涯現役応援窓口の新規利用者数の伸び悩みがあり、対象者への効果的な周知広報、運営手法が課題となっている。			
	今後の取組	セミナーを体験型の分野別セミナーを新たに開催し、それぞれのニーズに合ったセミナーを提供する。受講者や生涯現役応援窓口における相談者へきめ細やかなフォローアップを行い、併せて学童保育や放課後プラザ等の活動の場の開拓も行いながら、本事業を推進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	67	事務事業名	長寿社会のまちづくりイメージワークショップ	担当課	企画経営課
事業内容	長寿社会で予想される変化を示し、生活レベル、市民団体の活動レベルでどのような変化が生じるかを共有する場としてのワークショップを12地区ごとに設置します。ワークショップでは、長寿社会のイメージや自分または組織が果たせる役割、他の組織の役割との住み分けを共有し、課題解決に向けた参加主体による新規事業の創出などを促進します。				
27年度	評価	ワークショップの実施について、松林地区は、まちぢから協議会の事業として取り組むこととなったが、他事業と実施時期が重複したことから28年度以降に実施することで協議を進めている。			
	今後の取組	地域でワークショップを運営するノウハウを有する団体や研究機関等と協議を行い、実施プログラムを確定させる。また、地域と実施に向けた協議を継続的に行う。			
	進捗状況	③予定より遅れている			
28年度	評価	松林地区まちぢから協議会で福祉部会の設立の動きがあり、ワークショップの内容が福祉部会の目的と重なることから、地域の中での共助に向けた自立的な動きを阻害することのないよう、福祉部会の設立の動きを踏まえながらの地域との協議に時間を要したため実施に至っていない。			
	実施して感じた課題	地域の現状把握の必要性や地域での担い手、共助の必要性等の目的は地域の人と共有できていると感じているが、具体的な方法論と地域側のニーズとのすり合わせが課題となっている。			
	今後の取組	福祉部会の活動を行う上での地域の現状把握を本事業で担うことができるよう、ワークショップという形式にこだわらず、実施に向けた地域との協議を継続的に行う。			
	進捗状況	③予定より遅れている			
その他(自由記載)					

掲載ページ	67	事務事業名	自治会及びまちぢから協議会等地域活動への参画促進支援	担当課	市民自治推進課
事業内容	高齢者がこれまで培ってきた知識や経験、技術を活かして地域の担い手として活躍していただけるよう、自治会及び(仮称)まちぢから協議会等が進める地域活動への参画促進の取り組みを支援します。				
27年度	評価	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に対して各種補助金の交付等により、支援を行った。 市内12地区のうち、10地区で地区まちぢから協議会が設立され、地域における話し合いの場づくりが進められ、地域住民の参加を促進するための部会等の取り組みの支援を行った。 			
	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治の推進に重要な役割を果たす自治会活動が円滑に運営されるよう、自治会運営補助金や自治会館の賃借料及び修繕費補助等の財政的支援を引き続き行うとともに、協力体制の強化を図る。 地区まちぢから協議会の活動をととして、地域における顔の見える関係づくりや情報共有を進めるとともに、地域課題の解決が図られるよう、会議の進行補助、事業実施時の支援等、地域担当職員を中心とした支援を行う。 			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に対して各種補助金の交付等により、支援を行った。 市内12地区のうち、11地区で地区まちぢから協議会が設立され、地域における話し合いの場づくりが進められ、地域住民の参加を促進するための部会等の取り組みの支援を行った。 			
	実施して感じた課題	特になし			
	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治の推進に重要な役割を果たす自治会活動が円滑に運営されるよう、自治会運営補助金や自治会館の賃借料及び修繕費補助等の財政的支援を引き続き行うとともに、協力体制の強化を図る。 地区まちぢから協議会の活動をととして、地域における顔の見える関係づくりや情報共有を進めるとともに、地域課題の解決が図られるよう、会議の進行補助、事業実施時の支援等、地域担当職員を中心とした支援を行う。 			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	67	事務事業名	地域における多様な居場所づくりへの取組支援	担当課	市民自治推進課
事業内容	身近に心の拠り所となる場所があることにより、孤立を防ぐことができます。高齢者や障害者はもとより様々な方々が気軽に参加することができる居場所づくりが求められています。地域が主体的に取り組む、居場所づくりを支援します。				
27年度	評価	<ul style="list-style-type: none"> 市内11箇所のコミュニティセンターが地域住民のコミュニティ活動がより活発に行われる場として利用されるよう、指定管理者と連携して円滑な管理運営を行った。 			
	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市内11箇所のコミュニティセンターが幅広い世代の地域住民のコミュニティ活動がより活発に行われる場として利用されるよう、利用者のニーズを踏まえ、引き続き指定管理者と連携し、施設の使用承認、設備の維持管理、地域住民の交流事業等を通し、円滑な管理運営を行う。 			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	<ul style="list-style-type: none"> 市内11箇所のコミュニティセンターが地域住民のコミュニティ活動がより活発に行われる場として利用されるよう、指定管理者と連携して円滑な管理運営を行った。 地区まちぢから協議会が実施する高齢者を含む居場所づくりの取り組みに対し、財政的支援を行った。 			
	実施して感じた課題	特になし。			
	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市内11箇所のコミュニティセンターが幅広い世代の地域住民のコミュニティ活動がより活発に行われる場として利用されるよう、利用者のニーズを踏まえ、引き続き指定管理者と連携し、施設の使用承認、設備の維持管理、地域住民の交流事業等を通し、円滑な管理運営を行う。 			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	67	事務事業名	地域における多様な居場所づくりへの取組支援	担当課	保健福祉課
事業内容	身近に心の拠り所となる場所があることにより、孤立を防ぐことができます。高齢者や障害者はもとより様々な方々が気軽に参加することができる居場所づくりが求められています。地域が主体的に取り組む、居場所づくりを支援します。				
27年度	評価	身近に住民同士が集える居場所づくりへの取り組みとして、地区社会福祉協議会が中心となって新たに5か所のサロンが立ち上げられた。			
	今後の取組	引き続き、身近な居場所づくりへの取り組みとして新たなサロンの立ち上げを、茅ヶ崎市社会福祉協議会と協力し、支援していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	身近に住民同士が集える居場所づくりへの取り組みとして、地区社会福祉協議会が中心となって新たに2か所のサロンが立ち上げられた。			
	実施して感じた課題	活動者の高齢化や担い手の不足、商店・企業を巻き込んだ拠点活用			
	今後の取組	引き続き、身近な居場所づくりへの取り組みとして新たなサロンの立ち上げを、茅ヶ崎市社会福祉協議会と協力し、支援していく。 また、担い手不足については、サロンの参加者自身が担い手になるなど、新たな視点を取り入れ、地区や関係団体と取り組みを進めていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	67	事務事業名	地域における多様な居場所づくりへの取組支援	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	身近に心の拠り所となる場所があることにより、孤立を防ぐことができます。高齢者や障害者はもとより様々な方々が気軽に参加することができる居場所づくりが求められています。地域が主体的に取り組む、居場所づくりを支援します。				
27年度	評価	地域からの居場所づくりの相談に2件対応しました。また、地域の立ち上げ会議に出席し、他市の事例紹介や国の補助制度等を紹介しました。今後も引き続き、地域からの相談に随時応じることで、様々な主体が運営する居場所において高齢者を見守る体制づくりを目指す。			
	今後の取組	高齢者のニーズを把握するとともに、現段階で把握している高齢者の抱える課題等について地域に情報提供するとともに、顔の見える関係づくりを促進するため、地域が主体的に取り組む居場所づくりの相談に随時応じ、他市の事例紹介や国の補助制度等を紹介するなど、支援に努める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	地域からの居場所づくりの相談に1件対応し、地域の会議に出席して情報共有を図った。今後も引き続き、地域からの相談に随時応じることで、様々な主体が運営する居場所において高齢者を見守る体制づくりを目指す。			
	実施して感じた課題	顔の見える関係づくりを促進するため、地域が主体的に取り組む高齢者の居場所づくりを支援していく必要がある。			
	今後の取組	高齢者のニーズを把握するとともに、現段階で把握している高齢者の抱える課題等について地域に情報提供するとともに、顔の見える関係づくりを促進するため、地域が主体的に取り組む居場所づくりの相談に随時応じ、他市の事例紹介や国の補助制度等を紹介するなど、支援に努めていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	67	事務事業名	地域における多様な居場所づくりへの取組支援	担当課	子育て支援課
事業内容	<p>身近に心の拠り所となる場所があることにより、孤立を防ぐことができます。高齢者や障害者はもとより様々な方々が気軽に参加することができる居場所づくりが求められています。地域が主体的に取り組む、居場所づくりを支援します。</p>				
27年度	評価	<p>孤立しがちな子育て中の母親等が、高齢者も活動している地域の子育てサークルや子育てサロンを利用することで、子育ての助言や経験等を聞くことができ、安心して子育てできるきっかけとなっており、また、高齢者にとっても、活躍できる場が増えることにより、活気ある生活につながっている。</p>			
	今後の取組	<p>引き続き地域に密着した子育て支援をおこなえるよう子育てサークルや子育てサロンの周知の支援をするとともに、関係機関との連携を図りながら、孤立しがちな母親たちの支援を行う。</p>			
	進捗状況	<p>②予定どおり進んでいる</p>			
28年度	評価	<p>子育て中の母親等が、高齢者も活動している地域の子育てサークルや子育てサロンを利用することで、子育てへの不安を軽減し、地域の人の力から子育て支援を充実させるきっかけとなっている。また、高齢者にとっても、自身の経験を生かす場ができることにより、生きがいの創出につながっている。</p>			
	実施して感じた課題	<p>子育てサークル、サロン共に、地域でどのように連携して事業を展開しているのか、現場の状況だけでなく、地域での活動状況を確認していく必要性があると思われる。</p>			
	今後の取組	<p>地域ぐるみで子育て支援を行えるように、子育てサークルや子育てサロンの周知支援をするとともに、各方面と協力をすることで、子育て中の方の支援を行う。</p>			
	進捗状況	<p>②予定どおり進んでいる</p>			

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいがいづくりの支援
(2) 趣味、レクリエーション、生きがいがいづくりの支援

掲載ページ	68	事務事業名	老人クラブ等助成事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業内容	高齢者の積極的なスポーツ活動・文化活動の促進や、海岸清掃等の地域社会に対する奉仕活動の促進を図るため、補助金を交付します。					
評価の指標	会員数:各年度 4,400人					
27年度	目標値	4,400人	評点	S	評価	クラブ数・会員数は減少傾向にあるが、単位老人クラブ・老人クラブ連合会に対し適切な支援を実施した。
	実績	4,575人			今後の取組	引き続き、高齢者の生きがいと健康づくり等による明るい長寿社会の実現に向け、高齢者の自主的組織である老人クラブへ支援を行う。
28年度	目標値	4,400人	評点	S	評価	クラブ数・会員数は減少傾向にあるが、単位老人クラブ・老人クラブ連合会に対し適切な支援を実施した。
	実績	4,427人			実施して感じた課題	会員数は年々減少傾向にある。
その他の取組	引き続き、高齢者の生きがいと健康づくり等による明るい長寿社会の実現に向け、高齢者の自主的組織である老人クラブへ支援を行う。					
その他(自由記載)						

掲載ページ	68	事務事業名	老人憩いの家の管理・運営	担当課	高齢福祉介護課	
事業内容	高齢者のサークル活動や生きがいがいづくりの場として、指定管理による施設管理を行い、併せて指定管理者による自主事業を展開します。					
評価の指標	利用者数:各年度69,000人					
27年度	目標値	69,000人	評点	S	評価	高齢者の活動拠点としての役割のほかに、外出するきっかけづくりにも大きな役割を果たして成果が出ている。
	実績	70,608人			今後の取組	引き続き、高齢者の自主的な活動の場を提供するとともに、老人の教養の向上及び心身の健康増進を図る。
28年度	目標値	69,000人	評点	S	評価	高齢者の活動拠点としての役割のほかに、外出するきっかけづくりにも大きな役割を果たして成果が出ている。
	実績	65,629人			実施して感じた課題	利用団体数の減少もあるが、団体そのものの人数も、減少傾向にある。
その他の取組	引き続き、高齢者の自主的な活動の場を提供するとともに、老人の教養の向上及び心身の健康増進を図る。					
その他(自由記載)						

掲載ページ	68	事務事業名	老人福祉センターの管理・運営	担当課	高齢福祉介護課	
事業内容	高齢者のサークル活動や生きがいづくりの場として、指定管理による施設管理を行い、併せて指定管理者による自主事業を展開します。					
評価の指標	利用者数:各年度98,000人					
27年度	目標値	98,000人	評点	S	評価	高齢者の活動拠点としての役割のほかに、外出するきっかけづくりにも大きな役割を果たして成果が出ている。
	実績	112,367人			今後の取組	引き続き、高齢者の自主的な活動の場を提供するとともに、老人の教養の向上及び心身の健康増進を図る。
28年度	目標値	98,000人	評点	S	評価	高齢者の活動拠点としての役割のほか、外出するきっかけづくりにも大きな役割を果たしており、利用者数は前年度より減ったものの、目標値を大きく上回り、成果が出ている。
	実績	105,027人			実施して感じた課題	利用団体数の減少もあるが、団体そのものの人数も、減少傾向にある。
					今後の取組	引き続き、高齢者の自主的な活動の場を提供するとともに、老人の教養の向上及び心身の健康増進を図る。
その他(自由記載)						

掲載ページ	68	事務事業名	生きがいと健康づくり推進事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業内容	高齢者が家庭や地域等の各分野で、豊かな経験と知識、技能を活かし、健康かつ生きがいを持って社会活動を行うきっかけづくりを支援するため、老人クラブ連合会への委託事業をはじめとした各種事業を実施します。					
評価の指標	講座数・参加者数:各年度9講座 1,800人					
27年度	目標値	9講座 1,800人	評点	S	評価	9事業は概ね好評を得ており、目的に向けて成果が上がっている。延べ1,820人が参加。
	実績	9講座 1,820人			今後の取組	引き続き、高齢者が生きがいを持ちながら家庭・地域・企業等の様々な領域で心豊かに生活できるよう、各種講座、教室を開催する。
28年度	目標値	9講座 1,800人	評点	A	評価	9事業は前年度に引き続き概ね好評を得ている。延べ1,162人が参加。
	実績	9講座 1,162人			実施して感じた課題	高齢者の様々なニーズ把握に努め、興味を持つような講座等を継続して検討していく必要がある。
					今後の取組	引き続き、高齢者が生きがいを持ちながら家庭・地域・企業等の様々な領域で心豊かに生活できるよう、各種講座、教室を開催する。世代間交流については市民文化会館の改修にともない生きがい交流事業「きずな」に統合する予定である。
その他(自由記載)						

掲載ページ	68	事務事業名	生きがいふれあいバス運行事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業内容	高齢者及び障害者の10人以上の団体が、福祉施設等を利用し研修会やレクリエーションを行う際の送迎バスを運行します。					
評価の指標	年間運行台数:各年度約40台					
27年度	目標値	40台	評点	S	評価	高齢者及び障害者が自ら生きがいを見出すための施設見学を行う目的で福祉施設等を利用するにあたり、その利便性を図るためにバスを運行している。公平かつ計画的運行を実施することができた。
	実績	48台			今後の取組	引き続き、バスの運行を行うことで、高齢者が安心して外出できる環境整備を図る。また、限られた予算で、より多くの高齢者の外出機会の創出を図るため、一部負担金の導入の検討を行う。
28年度	目標値	40台	評点	S	評価	高齢者及び障害者が自ら生きがいを見出すため、施設見学や福祉施設等を利用するにあたり、その利便性を図るためにバスを運行している。公平かつ計画的運行を実施することができた。
	実績	42台			実施して感じた課題	利用団体の人数が、減少傾向にあり、また、利用団体が固定化していく傾向もみられる。
					今後の取組	引き続き、バスの運行を行うことで、高齢者が安心して外出できる環境整備を図る。また、限られた予算で、より多くの高齢者の外出機会の創出を図るため、一部負担金の導入の検討を行う。
その他(自由記載)						

掲載ページ	69	事務事業名	住区基幹型公園等整備事業	担当課	公園緑地課	
事業内容	緑の保全とともに市民生活に安らぎや憩いの場を提供することで、子どもから高齢者まで安心して利用し、地域交流や防災活動などの拠点ともなる、公園、緑地等の整備を行います。都市公園の拡充を図るとともに、公園の空白地域を重点に地権者を始めとする地域の方々から用地情報をいただくこと等により、借地公園の整備を進めていきます。また、既存公園の改修については地元の要望を踏まえながら健康遊具の設置も検討していきます。					
評価の指標	管理箇所数 27年度:183箇所 28年度:185箇所 29年度:187箇所(25年度実績 183箇所)					
27年度	目標値	183箇所	評点	S	評価	目標値を達成し、地域への開放を図ることで成果が出ている。
	実績	189箇所			今後の取組	市民1人当たり都市公園面積としては、まだまだ低い状況であるため、今後も地域と連携して借地公園の拡充に努めていく。
28年度	目標値	185箇所	評点	S	評価	目標値を達成し、地域への開放を図ることで成果が出ている。
	実績	188箇所			実施して感じた課題	未公告公園の都市公園化の検討や、オープンスペースの確保に向けた取り組みが必要。
					今後の取組	市民一人当たりの都市公園面積が未だ少ないため、引き続き、地域と連携して借地公園の拡充に努めていく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	69	事務事業名	映画会の開催			担当課	図書館
事業内容	高齢者が定期的に外出できるよう月1回程度を目安として開催します。加えて、加齢により聴覚や視覚に支障が生じて、副音声や字幕で楽しめるような映画上映の実施についても検討します。						
評価の指標	開催回数:各年度12回(25年度実績 12回)						
27年度	目標値	12回	評点	S	評価	北側屋根改修工事のため夏季に映画会を開催することはできなかったが、年間11回実施したほか、11月に茅ヶ崎ゆかりの小津安二郎監督作品の映画鑑賞会を実施した。12月には障害福祉課と共催でみんなのシネマを実施。	
	実績	11回			今後の取組	今後もニーズが見込まれるため、高齢者が定期的に外出できるよう、継続して月1回程度を目安として開催していく。また、誰にでも映画を楽しんでいただけるよう「みんなのシネマ」(副音声ガイド・字幕付き)についても他課や協力企業と連携し継続して実施していく。	
28年度	目標値	12回	評点	S	評価	定期的に映画会を年間12回実施したほか、11月に茅ヶ崎ゆかりの小津安二郎監督作品の映画鑑賞会を実施した。2月には障害福祉課と共催でみんなのシネマを実施。また、香川分館でも大人向きに映画会を1回実施した。	
	実績	12回			実施して感じた課題	定期的に実施している映画会でもより多くの方に鑑賞して頂けるよう字幕付きの上映を実施するとともに、可能な範囲で会場での柔軟な対応を心掛けた。	
					今後の取組	今後もニーズが見込まれるため、高齢者が定期的に外出できるよう、継続して月1回程度を目安として開催していく。また、誰にでも映画を楽しんでいただけるよう「みんなのシネマ」(副音声ガイド・字幕付き)についても他課や協力企業と連携し継続して実施していく。	
その他(自由記載)							

掲載ページ	69	事務事業名	多様な主体による高齢者の外出の機会の提供事業の検討	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	多様な主体による高齢者の外出機会提供事業を検討し、高齢者の生きがいづくりを支援します。(高齢者のための優待施設利用促進事業の検討等)				
27年度	評価	平成28年4月からの事業開始に向け、準備を進めました。協賛店舗を募るため、関係団体に事業概要の説明し、協力をお願いしました。			
	今後の取組	高齢者の外出の機会を提供し、健康の維持・増進や趣味等を見つけ、いきいきと、楽しく豊かな生活を送ることができる環境づくりは、多様な主体の連携・協力が不可欠であるため、本事業の主旨を理解していただけるよう関係者に引き続き働きかけを行い、高齢者ニーズにあったサービスが提供できるよう取り組みを進めます。(平成29年2月現在、優待カード配布枚数は20,838枚、協賛店舗は151店舗。)			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	平成28年4月からの事業を開始した。平成29年3月末現在、優待カード配布枚数は24,231枚、協賛店舗は150店舗。			
	実施して感じた課題	協賛店舗があまりない地域もあるため、高齢者の外出の機会となるよう、店舗拡大に向け検討していく。			
	今後の取組	高齢者の外出の機会を提供し、健康の維持・増進や趣味等を見つけ、いきいきと、楽しく豊かな生活を送ることができる環境づくりは、多様な主体の連携・協力が不可欠であるため、本事業の主旨を理解していただけるよう関係者に引き続き働きかけを行い、高齢者ニーズにあったサービスが提供できるよう取り組みを進める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	69	事務事業名	敬老祝金贈呈事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	多年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者に、敬愛の意を表し、その長寿を祝うため、88歳、99歳以上の高齢者に敬老祝金を贈呈します。また、100歳以上の方々の長寿のお祝いと交流を目的としてご長寿祝賀会を開催します。				
27年度	評価	市内在住の88歳、99歳、100歳以上の高齢者を対象に、祝い金の贈呈を行い、また、100歳以上の高齢者を対象としてご長寿祝賀会を開催した。			
	今後の取組	引き続き、多年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者に敬愛の意を表し、長寿を祝う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	市内在住の88歳、99歳、100歳以上の高齢者を対象に、祝い金の贈呈を行い、また、100歳以上の高齢者を対象としてご長寿祝賀会を開催した。			
	実施して感じた課題	ご長寿祝賀会については、参加者が楽しめるプログラムの検討が必要である。			
	今後の取組	引き続き、多年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者に敬愛の意を表し、長寿を祝う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	69	事務事業名	敬老大会等慰安事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	多年にわたり社会の発展に寄与してきた75歳以上の高齢者を招待し、市民文化会館にて敬老大会を開催して長寿を祝います。				
27年度	評価	9月に市民文化会館にて、敬老大会を実施し、長寿を祝うとともに、高齢者の外出の機会創出を図った。しかしながら、対象者である75歳以上の高齢者が年々増加しており、会場である市民文化会館の利用可能人数が限界になることが想定される。			
	今後の取組	対象者である75歳以上の高齢者が年々増加しており、会場である市民文化会館の利用可能人数が限界になることが想定されることや、今後市民文化会館の改修を予定していることから、事業廃止に向けて検討を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	9月に市民文化会館にて、敬老大会を実施し、長寿を祝うとともに、高齢者の外出の機会創出を図った。			
	実施して感じた課題	75歳以上の高齢者の増加が顕著であり、会場である市民文化会館の利用可能人数が限界に近い。			
	今後の取組	平成28年度をもって事業終了。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	69	事務事業名	公衆浴場入浴サービス事業	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	ひとり暮らしの高齢者の外出の機会を創出することで孤立を防止するほか衛生・健康管理のため、市内2か所の公衆浴場で利用することのできる入浴利用券を交付します。				
27年度	評価	ひとり暮らし高齢者を対象に、公衆浴場入浴利用券の交付を行なった。 平成27年度の実績として、交付人数380人、交付枚数15,790枚、利用人数293人、利用者のべ10,211人。本事業の利用者は、65歳以上高齢者の3.8%(27年5月現在)となっており、29年度より事業を廃止する予定。			
	今後の取組	平成29年度より事業が廃止されるため、1月4枚配布していた利用券を1月2枚とする。 引き続き、本事業の目的に基づき事業を実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	ひとり暮らし高齢者を対象に、公衆浴場入浴利用券の交付を行なった。 平成28年度の実績として、交付人数363人、交付枚数8,082枚、利用人数309人、利用者のべ5,239人。本事業の利用者は、65歳以上高齢者の0.5%(29年3月現在)となっており、29年度より事業を廃止する。			
	実施して感じた課題	利用者が固定化してきている傾向がある。			
	今後の取組	平成28年度をもって事業終了する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいがづくりの支援
(3)生涯学習の促進

掲載ページ	70	事務事業名	パソコン体験コーナー運営管理		担当課	文化生涯学習課
事業内容	高齢者を含む市民のICT(情報推進技術)教育の推進を図ります。パソコンボランティア湘南に依頼し行っているIT講習会で、3回中2回を高齢者対象として実施していくとともに、講習終了後もフォローアップ講習を行います。					
評価の指標	IT講習会参加者数:各年度60人					
27年度	目標値	60人	評点	B	評価	高齢者や障害者を中心に情報化社会へ対応できるよう生涯学習の一貫として実施しており順調に運営出来ているが、よりニーズを把握した講習会の内容を検討していく必要がある。
	実績	49人			今後の取組	引き続きIT講習会の開催をしていき、今後はパソコンに留まらず、様々な情報端末を活用したインターネットの活用法についても学べる機会の提供を図っていく。
28年度	目標値	60人	評点	C	評価	高齢者や障害者を中心に情報化社会へ対応できるよう生涯学習の一貫として実施しており順調に運営出来ているが、昨年度より参加者数が減ったため講習会の内容を検討していく必要がある。
	実績	41人			実施して感じた課題	情報端末に触れる機会が年々増えてきている中で、初心者向けの講座だけでなく、よりニーズに即した様々な情報端末を使用した講座を検討する必要がある。
今後の取組	タブレットなど時代に即したコミュニケーションツールの支援促進も強化していく。					
その他(自由記載)						

掲載ページ	70	事務事業名	生涯学習の機会の提供		担当課	文化生涯学習課
事業内容	高齢者が自己実現に向けた学習をするきっかけづくりとなる機会の提供として、各課かい及び関連団体等と連携し、シニア世代を対象として、セカンドライフを有意義に過ごすための機会提供及び事業紹介等を実施します。					
評価の指標	シニアパワー活用事業への参加者数:各年度70人(25年度実績 50人)					
27年度	目標値	70人	評点	Z	評価	平成27年度より、生涯学習だけでなく就労支援も含めた全庁的な「豊かな長寿社会に向けたまちづくりに関するプロジェクト」が開始したため、当課での事業実施は行っていない。
	実績	0人			今後の取組	生涯学習支援者養成講座や市民講師の活動紹介を通して、セカンドライフを有意義に過ごすための方法を実践的に伝える。
28年度	目標値	70人	評点	Z	評価	平成27年度より、生涯学習だけでなく就労支援も含めた全庁的な「豊かな長寿社会に向けたまちづくりに関するプロジェクト」が開始したため、当課での事業実施は行っていない。
	実績	0人			今後の取組	
その他(自由記載)						

掲載ページ	70	事務事業名	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業		担当課	社会教育課
事業内容	ふるさと茅ヶ崎を学び、知る機会を講座やまち歩き等の事業を通して提供し、高齢者が外出するきっかけや、ふるさとについて語る場をつくります。					
評価の指標	講座、まち歩き事業等の回数：各年度2回					
27年度	目標値	2回	評点	S	評価	春期・秋期の基礎講座に加え、自主企画のまち歩き事業7本を開催。退職し、改めてずっと暮らしている茅ヶ崎のことを知らなかったことに気付いた高齢者の参加が目立つ。
	実績	9回			今後の取組	継続して、講座やまち歩きを開催し、茅ヶ崎を知る機会を設けていく。参加するだけでなく、まち歩きのガイドをする側の市民の育成もしていく。
28年度	目標値	2回	評点	S	評価	春期・秋期の基礎講座に加え、自主企画のまち歩き事業4本を開催。退職し、改めてずっと暮らしている茅ヶ崎のことを知らなかったことに気付いた高齢者の参加が目立つ。ガイド育成研究も行った。
	実績	6回			実施して感じた課題	まち歩きをするにあたっては、安全面や声が届く範囲等を考え、1回の定員20名が限度であり、毎回キャンセル待ちになり、大人数のニーズに応えきれない。
					今後の取組	継続して、講座やまち歩きを開催し、茅ヶ崎を知る機会を設けていく。参加するだけでなく、参加して学んだ成果を生かして活躍できる、まち歩きのガイドをする市民の育成も継続して行う。
その他(自由記載)	事業の対象者の年齢層が広いいため、高齢者に対する評価がしにくい。					

掲載ページ	70	事務事業名	大活字資料の提供		担当課	図書館
事業内容	継続して大活字本を整備するほか、一般的な図書でも活字の大きさや行間などが高齢者の読書を配慮された資料も意欲的に収集し提供します。					
評価の指標	全蔵書数のうち大活字本の占める割合：各年度0.3%以上(25年度実績 0.3%)					
27年度	目標値	0.3%	評点	S	評価	継続して大活字本を整備していくとともに、一般的な図書でも活字の大きさや行間などが高齢者の読書に配慮された資料についても収集し提供した。
	実績	0.34%			今後の取組	今後もニーズが高まると見込まれ、継続して大活字本を整備していくとともに、一般的な図書でも活字の大きさや行間などが高齢者の読書に配慮された資料も意欲的に収集し提供していく。
28年度	目標値	0.3%	評点	S	評価	継続して大活字本を整備していくとともに、一般的な図書でも活字の大きさや行間などが高齢者の読書に配慮された資料についても収集し提供した。
	実績	0.34%			実施して感じた課題	大活字資料は1冊あたりのページ数の増加や分冊による冊数の増加に伴うため、書架スペースの確保が課題である。
					今後の取組	今後もニーズが高まると見込まれ、継続して大活字本を整備していくとともに、一般的な図書でも活字の大きさや行間などが高齢者の読書に配慮された資料も意欲的に収集し提供していく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	70	事務事業名	高齢者の学びの機会創出事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	高齢者を対象とした学習会を開催し、関心のある講義(授業)に楽しみながら参加してもらいます。社会参加・生涯学習・外出支援・孤立防止・1人暮らしの不安解消・認知症予防等の効果を期待します。				
27年度	評価	生きがいづくり学習会について、試行的に家庭科と理科の2講座を開催し、高齢者の社会参加・生涯学習・外出支援を図った。			
	今後の取組	より多くの方の外出の機会創出を図るため、引き続き、生きがいづくり学習会を開催する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	生きがいづくり学習会について、脳活、家庭科、理科、社会の4講座を開催し、高齢者の社会参加・生涯学習・外出支援を図った。			
	実施して感じた課題	学びの機会創出として、教科の内容だけでなく、大学の学生との触れ合いにより、多世代との交流も図られている。			
	今後の取組	より多くの方の外出の機会創出を図るため、引き続き、生きがいづくり学習会を開催する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	70	事務事業名	各種講座の開催	担当課	公民館
事業内容	高齢者の学びに対するニーズの把握に努めるとともに、生きがいづくりや健康づくりを支援するために趣味・レクリエーションをはじめとして各種講座を開催し、自主的な学習機会を提供します。				
27年度	評価	事業毎のアンケート調査を通し、高齢者の学びに対するニーズを把握し、生きがいづくりや体力づくりを支援するために趣味・レクリエーションなどの各種講座を開催して、自主的な学習機会を提供した。			
	今後の取組	今後も引き続き高齢者の学びに対するニーズの把握に努めるとともに、生きがいづくりや体力づくりを支援するために趣味・レクリエーションなどの各種講座を開催し、自主的な学習機会を提供していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	高齢者の学びに対するニーズを把握し、生きがいづくりや体力づくりを支援するために趣味・レクリエーションなどの各種講座を開催して、自主的な学習機会を提供した。			
	実施して感じた課題	<p>地域には人的資源が多々存在することを認識するとともに、今後もさらに資源発掘することの必要性を感じている。【小和田】</p> <p>そば打ち及びしめ縄づくりの講座を開催したが、大変好評で、次年度も引き続き開催したい。しめ飾りづくりについては、作る手順の説明がないまま作業に入り、初めての参加者に戸惑いが見られたため、参加者を5～6名の小グループに分け、各グループに指導者を1名配置する方法を検討したい。また、そば打ち、しめ飾りづくり双方に参加するケースがあり、しめ飾りづくりの開始時刻を13時30分に遅らせることを検討したい。【鶴嶺】</p> <p>高齢者の学びに対するニーズを把握するためには、社会情勢やトレンドに敏感である必要がある。【松林】</p> <p>平成27年度から会員制から単発の講座としたことで新しい参加者が得られたが、継続的な学習の場とするための工夫が必要である。【南湖】</p> <p>今後も引き続き、高齢者対象の事業を実施し、高齢者が自主的な学習機会をつくりだしていく。【香川】</p>			
	今後の取組	今後も引き続き高齢者の学びに対するニーズの把握に努めるとともに、生きがいづくりや体力づくりを支援するために趣味・レクリエーションなどの各種講座を開催し、自主的な学習機会を提供していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	71	事務事業名	高齢者読書支援事業	担当課	図書館
事業内容	高齢者が読書活動を容易に継続するために、身近な場所で図書館が利用できるよう図書室や貸出窓口の設置を検討します。具体的には、平成27年度に浜見平地区に図書室を設置し、以降についても既存施設の一部利用などの検討をします。また、外出が困難で来館ができない高齢者については自宅への配達サービスについて、平成29年度を目途に検討します。				
27年度	評価	平成27年4月1日に浜見平地区にハマミーナ図書室を開設したほか、10月に株式会社ジェイコム湘南と協定を締結し、来館することが困難な方を対象に家庭配本サービスを本格開始しました。配送は、50回実施し延べ205人に496点貸出。			
	今後の取組	ハマミーナ図書室をはじめ、各公民館等に開設している各図書室等について、引き続き蔵書の充実を図りながら、地域の読書活動の拠点となるよう整備を進めていく。また、家庭配本サービスについても民間と連携し継続して行っていく。			
	進捗状況	①予定より早まっている			
28年度	評価	ハマミーナ図書室、各公民館等に開設している各図書室等については地域の図書活動の拠点として蔵書の充実を進めた。また、株式会社ジェイコム湘南と連携し、来館することが困難な方を対象に家庭配本サービスを実施。配送は、50回実施し延べ207人に469点貸出。			
	実施して感じた課題	書架スペースに限りがある中で、地域の読書活動の拠点となるよう蔵書の充実を進めること。			
	今後の取組	ハマミーナ図書室をはじめ、各公民館等に開設している各図書室等について、引き続き蔵書の充実を図りながら、地域の読書活動の拠点となるよう整備を進めていく。また、家庭配本サービスについても民間と連携し継続して行っていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいづくりの支援
(4)世代間交流の促進

掲載ページ	71	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課	子育て支援課	
事業内容	安心して子育てができる環境づくりを進めるため、高齢者に子どもを預かる支援会員として活躍の機会を提供し、世代間交流を図ります。					
評価の指標	新規登録者(支援会員)の60歳以上の割合: 各年度10%(25年度実績 8%)					
27年度	目標値	10%	評点	S	評価	支援会員の新規登録者は30名、うち60歳以上は7名で全体の23.3%に上った。
	実績	23%			今後の取組	今後も地域での子育て支援を推進するよう事業の周知を図り、高齢者の子育て経験を活かす世代間交流を図っていく。
28年度	目標値	10%	評点	S	評価	支援会員の新規登録者は27名、うち60歳以上は5名で全体の18.5%に上った。
	実績	18.5%			実施して感じた課題	高齢者の支援会員にお願いできる依頼が少ないため、活動できていない支援会員が一定数いる。
					今後の取組	高齢者の支援会員の活動を促すためにも、依頼会員の増加、子育て支援事業の周知を行い、世代間交流を図っていく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	71	事務事業名	世代間交流を推進する事業	担当課	保育課
事業内容	公立保育園6園で、高齢者施設等を訪問し、お楽しみ会等に参加することにより、世代を超えた交流を図ります。また、公立保育園6園で、高齢者を招いたお楽しみ会等を開催することにより、世代を超えた交流やふれあいの場を提供します。				
27年度	評価	平成27年度では、公立保育園6園合わせて、高齢者施設等を訪問した回数は25回、高齢者をお招きした回数は5回となっており、世代を超えた交流を実施することができた。			
	今後の取組	今後も引き続き、できる限り高齢者との交流が図れるよう取り組んでいく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	平成28年度では、公立保育園6園合わせて高齢者施設等を訪問した回数は29回となり、世代を超えた交流を実施することができた。			
	実施して感じた課題	平成28年度においては、ご高齢ということもあり、保育園にお招きすることができなかった。保育園に来ていただくことは難しい部分がある。			
	今後の取組	今後の交流については、お招きするのは可能な場合とし、こちらから訪問する方法を重視して行っていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

事業No.	71	事務事業名	公民館祭り等の開催	担当課	公民館
事業内容	公民館まつりの開催により、高齢者が外出する機会を創出するとともに、地域における交流や仲間づくりを支援します。また、日本の年越しにおけるしめ縄づくりなどの伝統行事の伝承を通じて、児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい、活躍の場を提供します。				
27年度	評価	公民館まつり等の開催により、高齢者が外出する機会を創出し、地域における交流や仲間づくりを支援しました。また、伝統行事の開催を通じて、児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい活動の場を提供した。			
	今後の取組	今後も引き続き公民館まつり等を開催し、高齢者が外出する機会を創出し、地域における交流や仲間づくりを支援する。また、伝統行事の開催を通じて、児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい活動の場を提供していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	公民館まつり等の開催により、高齢者が外出する機会を創出し、地域における交流や仲間づくりを支援しました。また、伝統行事の開催を通じて、児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい活動の場を提供した。			
	実施して感じた課題	地域には人的資源が多々存在することを認識するとともに、今後もさらに資源発掘の必要性を感じた。【小和田】 特になし。【鶴嶺】 特になし。【松林】 小学生や中学生の参加者を増やすために、チラシ配布やポスター掲示等の学校への周知を図る必要がある。【南湖】 今後も引き続き公民館まつり等を開催し、高齢者が外出する機会を創出し、地域における交流や仲間づくりを支援する。また、伝統行事の開催を通じて、児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい活動の場を提供していきます。【香川】			
	今後の取組	今後も引き続き公民館まつり等を開催し、高齢者が外出する機会を創出し、地域における交流や仲間づくりを支援する。また、伝統行事の開催を通じて、児童・生徒と高齢者の世代を超えた交流やふれあい活動の場を提供する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいがづくりの支援
(5)就労支援の充実

掲載ページ	72	事務事業名	シルバー人材センター運営費補助事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業内容	臨時的かつ短期的な就労の機会の提供、就労を希望する高齢者に対する職業紹介及び就労に必要な知識・技術の講習を行う公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センターの効率的な運営を図るため、財政援助を行い、高齢者の就業機会の増大・職業の安定に寄与します。					
評価の指標	会員数：各年度1,100人					
27年度	目標値	1,100人	評点	S	評価	会員数は、経年的に見ると横ばい状態が続いており、今後も会員数を増やす取り組みが必要です。高齢者数が増加する中、就労機会の拡大や社会参画の促進に対する取り組みを更に進めていただく必要があります。
	実績	915人			今後の取組	会員数の確保に努めていただくとともに、受案件数や就労延べ人数等の確保等の状況を把握するとともに、その進捗状況をヒアリング等で把握します。また、必要に応じ、経営改善に向けた助言を行います。
28年度	目標値	1100人	評点	S	評価	会員数は、経年的に見ると横ばい状態が続いており、今後も会員数を増やす取り組みが必要です。高齢者数が増加する中、就労機会の拡大や社会参画の促進に対する取り組みを更に進めていただく必要があります。
	実績	978人			実施して感じた課題	会員確保に向けた取り組みや、新規事業の開拓についての検討が必要である。
					今後の取組	会員数の確保に努めていただくとともに、受案件数や就労延べ人数等の確保等の状況を把握するとともに、その進捗状況をヒアリング等で把握します。また、必要に応じ、経営改善に向けた助言を行います。
その他(自由記載)						

掲載ページ	72	事務事業名	中高年齢者就業支援事業	担当課	雇用労働課	
事業内容	勤労市民会館において、職業相談及び紹介、就職・転職活動の相談、就職活動についての講座を実施し、中高年齢者を含む求職者の就職を支援します。					
評価の指標	就職サポートコーナー相談者における65歳以上の相談者割合：27年度：3.8% 28年度：3.9% 29年度：4.0%					
27年度	目標値	3.8%	評点	A	評価	相談者1,596人のうち、65歳以上の高齢者の相談者数は34人で相談者割合2.1%であり、目標値は達成していないが、キャリアコンサルタントが仕事の探し方や適性・適職のアドバイスを行い、より実効的な就職・転職活動に繋げている。
	実績	2.1%			今後の取組	就職支援講座の実施、ふるさとハローワークとの連携を図り、引き続き事業を充実させていく。
28年度	目標値	3.9%	評点	A	評価	相談者1,651人のうち、65歳以上の高齢者の相談者数は45人で相談者割合2.7%であり、目標値は達成していないが、27年度より0.5ポイント上昇した。キャリアコンサルタントが仕事の探し方や適性・適職のアドバイスを行い、より実効的な就職・転職活動に繋げている。
	実績	2.7%			実施して感じた課題	65歳以上に限ったことではないが、リピーターが年々増えている。
					今後の取組	今後も就職支援講座の実施、ふるさとハローワークとの連携を図り、就職支援を総合的に実施していく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	67	事務事業名	(再掲)セカンドライフのプラットフォーム	担当課	企画経営課
事業内容	セカンドライフにあたっての心構えや基礎知識等の基礎講座と具体的な生きがい就労先や活動先を想定した応用講座の2層の講座を開催します。また、高齢者を必要としている生きがい就労先や地域活動団体と高齢者の間で、就労先や地域活動団体で必要とされる人材と高齢者個々人の意向や能力との照らし合わせを行い、きめ細やかなマッチングを行います。そのほかに、高齢者のニーズに応じた生きがい就労先の発掘を行います。				
27年度	評価	セカンドライフセミナーは合計40人が受講し、受講者の満足度は高く、参加費用の設定に対しても妥当との意見が大半であった。また、生涯現役応援窓口は、6か月間で延べ244人が利用し、その活動希望先の約7割が就労であった。就労先の開拓も同時に行っており、結果として17名の就労が実現した。それぞれの取組が初年度であったが、これまでにない超高齢社会に対応した取り組みをスタートすることができた。			
	今後の取組	セカンドライフセミナー受講者や生涯現役応援窓口における相談者へきめ細やかなフォローアップを行い、活動の場への支援を行う。また、それぞれの取組について周知が課題となっており、広報紙やホームページでのPRだけでなく、関係機関、民間事業者、地域での活動団体などと連携しながら本事業を推進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	セカンドライフセミナーは合計30人が受講し、受講者の満足度は高いものだった。セミナーへの誘導や活動への動機づけを目的とした啓発セミナーには55名の参加があった。また、生涯現役応援窓口は、延べ532人が利用し、結果として就労、ボランティア等を合わせて述べ115名のマッチングができた。			
	実施して感じた課題	セカンドライフセミナーの参加者数及び生涯現役応援窓口の新規利用者数の伸び悩みがあり、対象者への効果的な周知広報、運営手法が課題となっている。			
	今後の取組	セミナーを体験型の分野別セミナーを新たに開催し、それぞれのニーズに合ったセミナーを提供する。受講者や生涯現役応援窓口における相談者へきめ細やかなフォローアップを行い、併せて学童保育や放課後プラザ等の活動の場の開拓も行いながら、本事業を推進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

6-2 基本方針2 高齢者の健康づくりと介護予防の充実
(1)健康づくり、健康増進

掲載ページ	73	事務事業名	各種体育大会等の開催			担当課	スポーツ健康課
事業内容	高齢者を含めた市民の健康の保持増進及び体力の向上を図るため、市総合体育大会、各種事業等及びスポーツ教室を開催し、スポーツに親しめる機会を提供します。						
評価の指標	市総体、各種大会開催回数：各年度47回						
27年度	目標値	47回	評点	S	評価	目標どおり、事業が実施できた。	
	実績	47回			今後の取組	引き続き、高齢者の方に参加していただける事業を継続していく。	
28年度	目標値	大会 47回	評点	S	評価	目標どおり、事業が実施できた。また、教室事業については、屋内温水プールの指定管理者が変更されたこともあり、教室事業が増加し、市民の健康増進に寄与している。	
		教室 30回			実施して感じた課題	大会や教室の種類によって参加者にバラつきがあるため、広報活動について様々な媒体による手法を検討する必要がある。	
	実績	大会 47回 教室 45回			今後の取組	引き続き、高齢者の方に参加していただける事業を継続していく。	
その他(自由記載)	市総体及び各種大会については、その対象となる年齢層の幅が広いため、高齢者に特化した取組みや評価が行いづらい。						

掲載ページ	73	事務事業名	総合型地域スポーツクラブの育成			担当課	スポーツ健康課
事業内容	総合型地域スポーツクラブの継続活動に向けて、既存の活動団体の支援を行うとともに、高齢者を含む市民への周知を図るため、啓発活動を行います。						
評価の指標	広報紙への掲載回数：各年度11回						
27年度	目標値	11回	評点	A	評価	目標値は達成できなかったが、1回は「特集」としてすべての認定団体を掲載し、その活動内容や問合せ先などの詳細な情報を掲載し、活動の啓発をすることができた。	
	実績	4回			今後の取組	平成28年度に新たに1団体が認定されたため、市内では5団体となりました。新規団体が、総合型の本来の目的である「地域に根差した活動」ができるよう、活動の広報や活動場所の確保等の支援をしていく。	
28年度	目標値	11回	評点	A	評価	目標は達成できなかったが、平成28年度に新たに1団体が認定されたこともあり、実績値が向上した	
		実績			6回	実施して感じた課題	総合型地域スポーツクラブの認知度が依然として低いため、認知度アップに向けて各クラブの代表者を集め意見交換をする場を設けるなど、協力をする必要がある。
	今後の取組				引き続き各クラブに関する活動に関する広報活動や活動場所の確保等の支援を行っていく。		
その他(自由記載)							

掲載ページ	74	事務事業名	体カテストの開催		担当課	スポーツ健康課
事業内容	スポーツや健康に対する関心を深め、生涯スポーツの推進と健康生活の向上を図るため体カテストを開催し、自身の体力の現状を知ることにより、自分にあったスポーツ・健康活動への計画的な取り組みを行っていくための機会を提供します。					
評価の指標	体カテストの開催回数 27年度: 9回 28年度:10回 29年度:11回					
27年度	目標値	9回	評点	S	評価	目標どおり、体カテストを開催できた。
	実績	9回			今後の取組	引き続き、高齢者の方が参加しやすいよう、総合体育館だけでなく、学校体育施設を活用し、地域に出向いて開催していく。
28年度	目標値	10回	評点	A	評価	目標は達成できなかったが、例年と同等の規模で体カテストを実施することができた。また、リピーターの方も増えており、高齢者の体力維持の一助となっている。
	実績	9回			実施して感じた課題	地域によって参加者数にバラつきがあるため、広報紙だけではなく、回覧板や地域集会施設等へのチラシ配架など積極的な広報に取り組む必要がある。
					今後の取組	引き続き、高齢者の方が参加しやすいよう、総合体育館だけでなく、学校体育施設を活用し、地域に出向いて開催していく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	74	事務事業名	健康週間普及啓発事業		担当課	スポーツ健康課
事業内容	生活習慣病予防及び健康の維持増進を図るため、各種健康週間において様々な情報提供や講演会などを開催します。					
評価の指標	展示及び講演会の実施回数:各年度7回					
27年度	目標値	7回	評点	S	評価	禁煙週間、歯と口の健康週間、食育月間、健康増進普及月間、食生活改善普及月間、全国糖尿病週間、女性の健康週間の7回それぞれにおいて、講演会およびふれあいプラザ、総合体育館での普及啓発の展示を実施し、健康の維持増進に関して市民への情報提供ができた。
	実績	7回			今後の取組	平成26年度より市立病院との協力で実施している全国糖尿病週間でのイベントについて、平成28年度からは保健年金課、茅ヶ崎歯科医会とも協力し、歯周病が生活習慣病(糖尿病)を悪化させるなど、新たな情報の啓発等を加えて実施していく。
28年度	目標値	7回	評点	S	評価	禁煙週間、歯と口の健康週間、食育月間、健康増進普及月間、食生活改善普及月間、全国糖尿病週間、女性の健康週間の7回それぞれにおいて、講演会およびふれあいプラザ、総合体育館での普及啓発の展示を実施し、健康の維持増進に関して市民への情報提供ができた。
	実績	7回			実施して感じた課題	ふれあいプラザ、体育館の通常の利用者以外にも普及啓発の機会を広げる必要がある。
					今後の取組	これまでの会場に加えて公民館など資料展示会場を増やすと共に、ふれあいプラザの資料展示にあわせミニイベントや講演会を開催し、より多くの市民への普及啓発を図る。
その他(自由記載)						

掲載ページ	74	事務事業名	歯科保健事業		担当課	スポーツ健康課
事業内容	歯と口の健康週間において、歯科保健に関する知識の普及を行います。					
評価の指標	来場者数:27年度:150人 28年度:155人 29年度:160人					
27年度	目標値	150人	評点	S	評価	平成27年6月7日(日)分庁舎コミュニティホールにおいて「歯っぴいデー」を開催し、だ液や口腔内の細菌チェック、ブラッシング指導のほか、湘南口体操の普及活動を実施し、歯科保健に関する知識を普及することが出来た。
	実績	155人			今後の取組	平成28年度以降は、会場を新しい本庁舎1階のふれあいプラザへ移し、より多くの市民が立ち寄りやすいイベントとなり来場者が増加するよう、デジタルサイネージ等の活用で、周知の充実を図る。
28年度	目標値	155人	評点	S	評価	平成28年6月5日(日)ふれあいプラザにおいて「歯っぴいデー」を開催し、だ液や口腔内の細菌チェック、ブラッシング指導のほか、湘南口体操の普及活動を実施し、歯科保健に関する知識を普及することが出来た。
	実績	148人			実施して感じた課題	ふれあいプラザへ会場を移し、デジタルサイネージなど新たな周知活動にも取り組みましたが、来場者には大きな差が無く周知方法に更に工夫が必要と考えられる。
今後の取組	保育園などへチラシの配布を依頼するなどの周知を広げると共に、ふれあいプラザでのイベント開催が分かりやすいよう、屋外にのぼり旗を設置するなど工夫する。					
その他(自由記載)						

掲載ページ	74	事務事業名	健康診査		担当課	保健福祉課
事業内容	75歳以上の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象として、生活習慣病等の早期発見のために健康診査を実施します。					
評価の指標	受診者数:各年度13,500人(25年度実績 12,496人)					
27年度	目標値	13,500人	評点	S	評価	目標値に対して1.01倍の実績を達成したため。
	実績	13,629人			今後の取組	個別通知を継続して、受診数の増加を図る。
28年度	目標値	13,500人	評点	S	評価	目標値に対して1.06倍の実績を達成したため。
	実績	14,331人			実施して感じた課題	対象者数の増加とともに受診者数が増加しているが、受診率は、47.8%と昨年並みとなっている。
今後の取組	個別通知を継続して、受診数の増加を図る。					
その他(自由記載)						

掲載ページ	74	事務事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業	担当課	保健福祉課	
事業内容	65歳以上の市民及び60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能障害により身体障害者手帳1級相当の手帳を所有する市民を対象に、インフルエンザワクチンの予防接種費用の助成をします。					
評価の指標	予防接種者数:各年度23,000人(25年度実績 22,741人)					
27年度	目標値	23,000人	評点	S	評価	目標値に対して1.04倍の実績を達成したため。
	実績	23,855人			今後の取組	広報紙等により市民周知を図ります。
28年度	目標値	23,000人	評点	S	評価	目標値に対して1.08倍の実績を達成したため。
	実績	24,934人			実施して感じた課題	接種者数は27年度より1,079人増加しており成果が上がっていると評価する。
					今後の取組	平成29年9月から実施する健康診査等の個別通知に「おとなの予防接種のお知らせ」を同封し市民周知を図る。
その他(自由記載)						

掲載ページ	74	事務事業名	健康増進と虚弱化予防の拠点づくり	担当課	企画経営課
事業内容	生活習慣病や虚弱化の予防に向けた学びの機会創出のための場を、民間との連携により設置します。想定するサービスとしては、電子デバイス(機器)の活用による簡易な健康チェック、住み慣れた地域での健康状態の確認、健康の維持(未病状態)に向けた適切な食事、運動の情報提供などがあります。				
27年度	評価	市内各所で実施(1回は荒天のため中止)し、延べ192名が参加した。また、市民サポーターを27名養成し、フレイル予防を市民主体の健康増進運動へ展開するための土台づくりを行うことができた。			
	今後の取組	フレイルチェックを市民主体の取り組みとするために、事業の進行を行うサポーターの養成が課題となっており、東京大学と連携しながら進めていく。また、市で主催している様々な健康講座の情報を集約し、参加者へ情報提供し、各講座へ誘導することで、フレイルチェックをより効果的なものとなるようにする。さらに、健康無関心層への働きかけ及び他の運営主体での取り組みでの実施を視野に入れ、地域サロンでの試行的な実施を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	市内各所で10回実施し、延べ359名が参加した。また、事業の進行を行える進行サポーターを4名養成したことに加え、新規の市民サポーターを11名養成し、フレイル予防を市民主体の健康増進運動へ展開するための準備が進んできている。			
	実施して感じた課題	市民サポーターによるフレイルチェックの進行が定着したが、サポーターのモチベーションや質の維持を保つことや、他主体での実施への推進においてサポーターの管理や必要物品の運搬等が課題となっている。			
	今後の取組	フレイルチェックがより効果的な事業となるようにするため、東京大学と連携しながら、介入方法の検討を行う。また、地域サロンでの試行的な実施による課題を解決し、他主体での本格実施に向けた調整を行うとともに、フレイル予防の機運を高めるため、市民向け講演会を実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	74	事務事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業	担当課	保健福祉課
事業内容	65歳以上の市民及び60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能障害により身体障害者手帳1級相当の手帳を所有する市民を対象に、肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成をします。				
27年度	評価	平成26年度より予防接種法の改正により定期接種に位置づけられたことにより、事業を実施している。国の定期接種対象者は、65歳から5歳刻みの年齢となっているが、本市では、接種の機会を逃してしまうことを避けるために、65歳以上の全ての年齢を対象を拡大して実施している。生涯1回限りの助成であるため、26年度の受診者数は、9,300人、27年度は2,474人となっている。			
	今後の取組	年度初めに、タブロイド版の予防接種実施医療機関一覧を広報紙に挟み込み、市民周知を図っていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	28年度の肺炎球菌ワクチン接種者数は、3,293人で、27年度より819人増加している。			
	実施して感じた課題	28年度の接種率は、65歳以上人口63,961人に対して5.1%で27年度4.0%より1.1ポイント上昇している。テレビコマーシャル等により市民周知が図られている状況があり、予算の確保が課題である。			
	今後の取組	年度初めに広報紙において市民周知を実施するとともに、特定健康診査及び健康診査等の個別通知に「おとなの予防接種のお知らせ」を同封し市民周知を図る。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

6-2 基本方針2 高齢者の健康づくりと介護予防の充実
 (2) 介護予防の効果的な取り組みの支援及び介護予防に対する意識の啓発

掲載ページ	75	事務事業名	介護予防・健康づくり事業(60歳からのフィットネス教室)		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	運動機能の低下防止のため、市内スポーツクラブに委託し、医師、看護師、運動指導員等の指導のもと筋力トレーニングや健康体操などを実施することにより、自立した日常生活の維持継続を図ります。					
評価の指標	教室参加者数:各年度140人(実人員)					
27年度	目標値	140人	評点	S	評価	高齢化が進む中で今後の成果が見込まれる。
	実績	142人			今後の取組	引き続き周知を強化するとともに、更なる参加者増加を目指し、関係機関との新たな手法を検討する。
28年度	目標値	140人	評点	A	評価	前年度に比べ参加者数が大幅減となったが、高齢者人口が増え続ける中で、今後も成果を見込まれる。
	実績	90人			実施して感じた課題	参加後にスポーツクラブへ加入される方もいる中、新規参加者への周知方法についての工夫の検討が必要である。
					今後の取組	関係機関との新たな手法を検討するなど、周知の工夫を図り、参加者増加を目指す。
その他(自由記載)						

掲載ページ	75	事務事業名	脳の健康教室		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	認知症予防に効果的な「読み・書き・計算」をわかりやすい教材で実践する「脳の健康教室」を開催し、脳の活性化を図りながら、心身の健康を保つと共に学習サポーターや仲間同士の交流で社会参加を促進します。					
評価の指標	参加者数:各年度90人					
27年度	目標値	90人	評点	S	評価	脳が活性化した、生活の張りが出たなど参加者からの感想をいただいている。教室は、学習サポーターや仲間同士の交流なども含め好評である。
	実績	83人			今後の取組	引き続き、周知に努め、結果を実感していただけるよう教室の運営を行う。また、新たな手法を検討する。
28年度	目標値	90人	評点	C	評価	脳が活性化した、生活の張りが出たなど参加者からの感想をいただいている。教室は、学習サポーターや仲間同士の交流なども含め好評である。
	実績	67人			実施して感じた課題	新規受講者増のための周知方法を検討していく必要がある。
					今後の取組	引き続き、周知に努め、結果を実感していただけるよう教室の運営を行う。また、新たな手法を検討する。
その他(自由記載)						

掲載ページ	75	事務事業名	介護予防講演会		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	はつらつ健康プログラムとして、高齢者に多い脳血管疾患、肺炎、認知症などの疾病の予防や歯の健康に関する講演を行います。また、調理実習を含んだ栄養教室を行い、介護予防を推進します。					
評価の指標	参加者数:各年度400人					
27年度	目標値	年400人	評点	S	評価	目標値を上回り、アンケートの結果でも、講演や調理実習等で学んだことを実践していきたい旨の回答をしている人が多かった。
	実績	953人			今後の取組	引き続き高齢者の介護予防に資する内容で講演や栄養教室を実施する
28年度	目標値	年400人	評点	S	評価	参加者数は目標値を上回り、アンケートの結果でも講座内容等について概ね好評であった。また、28年度は"65歳からのおしゃれメイク術"を取り入れ、外出する気持ちにさせる内容にも新たに取り組んだ。
	実績	1150人			実施して感じた課題	会場の広さ等により参加希望者がキャンセル待ちになることがあった。
					今後の取組	今後もアンケートの結果や介護予防として重要と思われるテーマで講演会等を実施する必要がある。
その他(自由記載)						

掲載ページ	75	事務事業名	すこやか支援プログラム対象者把握事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業内容	要支援・要介護認定を受けていない高齢者を対象に、基本チェックリストを活用し、効率よくすこやか支援プログラムの対象者を把握するとともに、すこやか支援プログラムへの参加を勧めます。					
評価の指標	基本チェックリストの回収率:各年度65.0%以上					
27年度	目標値	75%	評点	S	評価	介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に郵送により実施する基本チェックリストは27年度で終了となるため、基本チェックリストの項目以外の生活状況健康状態等も把握できる内容にして実施したことにより、高齢者の生活状況健康状態を広く把握することができた。
	実績	61.6%			今後の取組	様々な事業等を通して要支援要介護状態になる可能性のある高齢者を把握する
28年度	目標値	65%	評点	Z	評価	28年度から基本チェックリストを郵送していないため、対象者の把握について地域包括支援センター等との連携強化を図ったが、すこやか支援プログラムの参加者は198人であった。
	実績	基本チェックリストの郵送なし			実施して感じた課題	必要な対象者を把握できない可能性がある。自ら必要性を感じて包括支援センターに相談したり、包括支援センター等が把握している方に基本チェックリストを実施するため費用対効果は高い。
					今後の取組	28年度で本事業は終了。
その他(自由記載)						

掲載ページ	75	事務事業名	訪問指導事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業内容	うつ病、閉じこもりの恐れがあるすこやか支援プログラム対象者に対して保健師等が訪問により状態を把握し、適切な指導を行います。					
評価の指標	訪問・電話等によるフォロー件数:各年度189件					
27年度	目標値	189件	評点	S	評価	目標値の80%を上回っている。また、栄養士等が、訪問し必要な支援を行うことにより、必要なサービス等につなぐことのできた人もいた。
	実績	169件			今後の取組	引き続き、うつ閉じこもり傾向のある高齢者を訪問し必要な支援を行う。
28年度	目標値	131件	評点	S	評価	目標値の約90.1%であった。うつ閉じこもりになった原因が分かり、またサービスに繋がった事例もあったことから、成果はあった。
	実績	119件			実施して感じた課題	基本チェックリストの郵送等がなくなったためうつ閉じこもり傾向にある方の把握が難しくなった。
					今後の取組	28年度で本事業は終了。
その他(自由記載)						

掲載ページ	76	事務事業名	転倒予防教室	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	はつらつ健康プログラムとして、転倒骨折により介護が必要な状態となることを予防し、高齢者の社会参加や外出機会の拡大を図るため、転倒予防教室を開催します。				
27年度	評価	年々、高齢者の増加比に対し、転倒予防教室の参加者比が上回っていることから、転倒予防教室の認知度は高まっており、27年度の参加者は実1,550人、延べ15,589人であった。(一会場あたり59人)			
	今後の取組	引き続き実施する。参加者数が増えているため、これまで以上に安全に実施できるよう、注意喚起を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	参加者が増え、効果的な運動が出来なかったり安全が担保できない会場がでてきたため、10月から4会場増やし、月26会場で実施した。延べ15,845人の参加があった。			
	実施して感じた課題	高齢者の自立を促す事業であることから、申し込みなしの教室となっている。そのため、当日まで参加人数を把握することが難しい。また、会場によって参加者の人数が大きく違う。			
	今後の取組	拡大した実施回数(26会場)を維持する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	76	事務事業名	認知症予防事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	認知症のおそれのあるすこやか支援プログラム対象者に対し、認知機能向上を図るため有酸素運動、記憶訓練等の事業内容を充実します。				
27年度	評価	脳力アップ教室には実105人、健康アップ教室には52人の参加があった。参加者数及び参加率については、26年度に比べ向上しているものの、対象者の2～3%であることから、対象者が参加しなくなるような工夫が必要である。			
	今後の取組	同様の取り組みとしては28年度までの予定となっていることから、目的を明確にしながら実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	脳力アップ教室には実37人、健康アップ教室には47人の参加があった。28年度から基本チェックリストの送付による対象者の把握ができなくなったため、対象者数や参加率を求めることができなかった。			
	実施して感じた課題	基本チェックリストの送付による対象者の把握ができなくなったため、参加者数が減少した。			
	今後の取組	28年度で本事業は終了となる。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	76	事務事業名	運動器の機能向上事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	身体活動を担う筋、骨格、神経等の運動器の機能が低下しているすこやか支援プログラム対象者に対して、転倒骨折の防止、運動器機能の低下予防・機能向上を図るための教室を開催します。				
27年度	評価	すこやか運動教室には、実179人の参加があった。参加者数及び参加率についても、26年度に比べ向上していた。(26年度の参加者数131人、7.55%、27年度179人、7.61%)			
	今後の取組	同様の取り組みとしては28年度までの予定となっていることから、目的を明確にしながら実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	すこやか運動教室には実114人、健康アップ教室には47人の参加があった。28年度から基本チェックリストの送付による対象者の把握ができなくなったため、対象者数や参加率を求めることができなかった。			
	実施して感じた課題	基本チェックリストの送付による対象者の把握ができなくなったため、参加者数が減少した。			
	今後の取組	28年度で本事業は終了となる。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	76	事務事業名	複合事業(栄養改善・口腔機能向上・運動機能向上・認知症予防)	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	要支援・要介護状態のおそれのあるすこやか支援プログラム対象者に対し、栄養改善・口腔機能向上・運動器機能向上・認知症予防に資する教室を開催します。				
27年度	評価	健康アップ教室(栄養改善・口腔機能向上・運動機能向上・認知症予防教室)の参加者は52人であった。参加者数及び参加率についても26年度と比べ向上している。(26年度26人、1.77% 27年度52人 1.99%)			
	今後の取組	同様の取り組みとしては28年度までの予定となっていることから、目的を明確にしながら実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	健康アップ教室には47人の参加があった。28年度から基本チェックリストの送付による対象者の把握ができなくなったため、対象者数や参加率を求めることができなくなった。			
	実施して感じた課題	基本チェックリストの送付による対象者の把握ができなくなったため、参加者数が減少した。			
	今後の取組	28年度で本事業は終了となる。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	76	事務事業名	いつでもどこでも歌と筋力アップ体操事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	高齢者支援リーダーや認知症サポーター、自治会、ボランティア等が協力し、身近な会場で、ロコモティブ症候群(運動器症候群)や認知症予防のために、歌を組み合わせた簡単な体操等を検討します。				
27年度	評価	本事業開始(モデル事業)は28年度からの予定となっており、27年度はその運営者である歌体操ボランティアの養成講座を実施する。(事務事業名を「歌体操教室」変更する。			
	今後の取組	歌体操教室の実施会場の拡大を図る。28年度は3会場予定。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	27年度に養成した歌体操ボランティアが中心となって、28年度から歌体操教室「ねぼし」として3会場で実施した。参加者も定着してきている。地域からの29年度実施希望が予定より多くなっている。			
	実施して感じた課題	基本的には、ラジカセやパソコン等の物品を使わないため簡便に実施できる。また、だれしものが聞いたことのある童謡10曲であることから、ボランティアも参加者も受け入れやすい。			
	今後の取組	地域包括支援センター、まちぢから協議会、自治会、民生委員等と連携しながら、会場数を増やしていく。			
	進捗状況	①予定より早まっている			
その他(自由記載)					

掲載ページ	76	事務事業名	健康維持推進事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	ケーブルテレビを利用した介護予防に関する情報提供や、DVDの貸し出しによる介護予防体操の普及、介護予防のための「みんなで！ちがさき体操」チラシを作成・配布して、介護予防を促進します。				
27年度	評価	介護予防に関するリーフレットを作成し、65歳になる方への介護保険の案内に同封し、介護予防に関する情報提供を行った。また、ちがさき体操の普及啓発用DVD、CDの受け渡し件数も年々増えてきている。			
	今後の取組	今後も継続する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	ちがさき体操の普及啓発用DVD、CDの受け渡し件数も年々増えてきている。また、ちがさき体操を全世代に普及していくために、ダイジェスト版を作成した。			
	実施して感じた課題	ちがさき体操を知っている高齢者はまだまだ少ないことがわかった(27年度に実施した高齢者個別調査の結果、12.7%が知っていると回答)ため、周知の強化が必要。			
	今後の取組	今後も継続する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	76	事務事業名	一般介護予防事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	介護保険の認定に関わらず、すべての高齢者が利用できる体操教室等の普及啓発を行います。この事業の開始に伴い、はつらつ健康プログラム(一次予防事業)を整理し、この事業と統合を行います。				
27年度	評価	計画通り準備を行っている。			
	今後の取組	継続する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	計画通り準備を行っている。			
	実施して感じた課題	新たに地域リハビリテーション活動支援事業の周知を行う必要がある。			
	今後の取組	29年度から実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	76	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	要支援者や介護予防・生活支援サービス事業対象者に対して、訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービス、介護予防ケアマネジメントを実施します。この事業の開始に伴い、すこやか支援プログラム(二次予防事業)は整理し、この事業と統合を行います。				
27年度	評価	事業者、関係団体等へ聞き取りを行い、サービス類型を検討した。			
	今後の取組	29年4月の制度開始に向けて基準等を整備する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	平成29年4月から事業を開始できるよう、準備を進めることが出来た。			
	実施して感じた課題	市民への事業の周知及び介護サービス事業者への事業実施に係る案内について、引き続き行う必要がある。			
	今後の取組	事業の周知を行いつつ、着実に事業を推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援を可能とすることを旨とする。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	77	事務事業名	介護予防従事者及び高齢者支援リーダー等研修事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	介護予防事業の従事者やボランティア等の資質の向上や従事者としての動機付けを維持できるよう、研修会を開催します。また、高齢者支援リーダーの養成を行い、高齢者支援リーダーが地区サロン等において、「ちがさき体操」や「お口の体操」等を実演できるようにします。				
27年度	評価	高齢者支援リーダー養成講座及び(仮称)歌体操ボランティア養成講座についても定員を上回る応募があり、定員を拡大するなどの対応を行ったが、それでも受講できない方がいた。介護予防やボランティアに関する意識が高い市民が多いと思われる。			
	今後の取組	継続する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	高齢者支援リーダー養成講座を1回(7日間コース)を実施した。歌体操ボランティア養成講座については1回実施の予定であったが、29年度の歌体操教室の実施会場予定数が増えたため、2回実施した。			
	実施して感じた課題	特に歌体操ボランティアについては希望者が多く、ボランティア養成講座へのキャンセル待ちとなった。			
	今後の取組	継続する。			
	進捗状況	①予定より早まっている			
その他(自由記載)					

6-2 基本方針2 高齢者の健康づくりと介護予防の充実
(3)生活支援サービスの充実・強化

掲載ページ	78	事務事業名	介護用品支給サービス事業(紙おむつ等の支給)		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	市民税非課税世帯で要介護4または5に相当する高齢者を主に介護している家族に紙おむつ等を支給することにより、家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者が在宅で衛生的かつ快適な日常生活を送れるよう支援します。					
評価の指標	利用件数:各年度600件					
27年度	目標値	600	評点	S	評価	第5期計画から毎年度、利用件数が増加しており、ニーズが高い。介護認定結果への案内の同封等により、周知を図り、利用登録者に適切にサービスを実施した。
	実績	653			今後の取組	介護用品の支給により介護者(家族等)の負担軽減を図る。 サービスが必要な人に適切にサービスが行き届くよう周知する。
28年度	目標値	600	評点	S	評価	毎年度、利用件数が増加傾向にあり、ニーズが高い。介護認定結果への案内の同封等により、周知を図り、利用登録者に適切にサービスを実施した。
	実績	700			実施して感じた課題	サービスを必要とする人に適切にサービスが行き届くよう、潜在的なニーズを掘り起こすための広報周知が必要となる。
					今後の取組	介護用品の支給により介護者(家族等)の負担軽減を図る。
その他(自由記載)						

掲載ページ	78	事務事業名	緊急通報装置貸与事業		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	ひとり暮らし高齢者等で、現病歴・既往歴等により日常生活に注意を要する方に対して、緊急通報装置を貸与することにより、急病等の緊急事態発生時に即座に近隣者等と連絡の取れる環境を整備します。また、受信センターからの定期的な「お伺い電話」により、受報、発報の両面から見守りを行います。					
評価の指標	貸与台数:各年度320台					
27年度	目標値	320	評点	A	評価	貸与台数は目標値に達しなかったが、新規申請に対しては速やかに訪問調査を行い、利用の可否を決定するとともに継続利用者に対しては受報・発報の両面から安否確認体制を整え、高齢者の在宅生活を支援した。
	実績	254			今後の取組	緊急通報装置の貸与により、単身高齢者等の在宅生活を支援する。 サービスが必要な人に適切にサービスが行き届くよう周知する。
28年度	目標値	320	評点	A	評価	貸与台数は目標値に達しなかったが、新規申請に対しては速やかに訪問調査を行い、利用の可否を決定するとともに継続利用者に対しては受報・発報の両面から安否確認体制を整え、高齢者の在宅生活を支援した。
	実績	222			実施して感じた課題	サービスを必要とする人に適切にサービスが行き届くよう、潜在的なニーズを掘り起こすための広報周知が必要となる。
					今後の取組	緊急通報装置の貸与により、単身高齢者等の在宅生活を支援する。
その他(自由記載)						

掲載ページ	78	事務事業名	給食サービス事業		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	老衰、心身の障害または疾病等の理由で炊事が困難な高齢者に対して、昼食または夕食を配食するとともに、直接手渡しによる安否確認を行います。					
評価の指標	配食数:各年度14,000食					
27年度	目標値	14,000	評点	A	評価	利用者に対しては、安否確認に重点を置き、適切にサービスを実施したが、民間事業者が多数参入する中、実施手法は非効率的であった。
	実績	9,514			今後の取組	事業は廃止の方向とし、現利用者のサービスの引き継ぎ方法を検討する。
28年度	目標値	14,000	評点	A	評価	利用者に対しては、安否確認に重点を置き、適切にサービスを実施したが、民間事業者が多数参入する中、実施手法は非効率的であった。
	実績	8,774			実施して感じた課題	民間事業者の行う宅配給食が一層充実する中で、市が宅配給食を実施する必要性が薄れている。
					今後の取組	事業の廃止に向けた手続きを進める。
その他(自由記載)						

掲載ページ	78	事務事業名	寝具类等洗濯乾燥消毒サービス事業		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	寝たきり高齢者や認知症高齢者で失禁のある方に対して、寝具類の衛生を保持し、快適な生活環境を整えるため、月に1回、寝具類の乾燥、若しくは、丸洗いを実施します。					
評価の指標	利用件数:各年度240件					
27年度	目標値	240	評点	A	評価	第5期計画から毎年度、利用登録者が増加しており、ニーズが高い。介護認定結果への案内の同封等により、周知を図り、利用登録者に適切にサービスを実施した。
	実績	186			今後の取組	寝具乾燥・寝具丸洗いの実施により、単身高齢者等の在宅生活を支援する。サービスが必要な人に適切にサービスが行き届くよう周知する。
28年度	目標値	240	評点	S	評価	毎年度、利用登録者が増加傾向にあり、ニーズが高い。介護認定結果への案内の同封等により、周知を図り、利用登録者に適切にサービスを実施した。
	実績	225			実施して感じた課題	サービスを必要とする人に適切にサービスが行き届くよう、潜在的なニーズを掘り起こすための広報周知が必要となる。
					今後の取組	寝具乾燥・寝具丸洗いの実施により、単身高齢者等の在宅生活を支援する。
その他(自由記載)						

掲載ページ	78	事務事業名	保健師等による介護認定非該当者への訪問		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	介護認定の結果、非該当となった高齢者を保健師等が訪問し、介護・健康・生活上の困りごと等の相談を受け、各種生活支援等のサービス利用や地域活動につなげていきます。					
評価の指標	訪問・電話等によるフォロー件数：27年度：100件 28年度：100件 29年度：100件					
27年度	目標値	100件	評点	C	評価	目標値は下回っているが、訪問等により高齢者のニーズや健康状態を確認し必要な支援を行うことができた。
	実績	59件			今後の取組	引き続き非該当となった方に対して保健師等が訪問等によりフォローを行う。
28年度	目標値	200件	評点	C	評価	目標値は下回った。訪問等により連絡し、高齢者のニーズや健康状態を確認し必要な支援を行うことができた。また必要時地域包括支援センターに繋ぐことが出来た。
	実績	74件			実施して感じた課題	非該当の高齢者に連絡すると、通所サービスやホームヘルパー等を希望して介護保険を申請する方が比較的多いことが分かった。一方、とりあえず申請したと回答する高齢者もいた。
					今後の取組	地域包括支援センター等と連携しながら訪問のみならず電話等でもフォローしていく必要がある。
その他(自由記載)						

掲載ページ	79	事務事業名	マイライフ(エンディング)ノート活用事業		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	人生を振り返り人生の最終章にむけ、これからの生き方・過ごし方や最後の迎え方等について、自身の思いや希望などを書きとめておくマイライフ(エンディング)ノートを作成し、関係機関等に配架、ホームページ等での掲載を行います。					
評価の指標	配架冊数：28年度：700冊 29年度：800冊					
27年度	目標値	なし	評点	Z	評価	
	実績	なし			今後の取組	28年度にマイライフ(エンディング)ノートを作成し、配架を始める。
28年度	目標値	700冊	評点	S	評価	地域包括支援センター、民生委員、成年後見センター等と検討を重ね作成したため内容の充実したノートになった。広報等で周知すると、入手希望が爆発的に多かった。これらのことから、自分の将来に備えたいと考える方が多いことが分かった。
	実績	約5,000冊			実施して感じた課題	エンディングノート(わたしの覚え書き)について、介護等の希望等と財産等を記載するノートを分け、またその記入例を作成したことは評価できる。
					今後の取組	29年度は、エンディングノート(わたしの覚え書き)の書き方講座を開催する。
その他(自由記載)						

掲載ページ	79	事務事業名	安心まごころ収集		担当課	環境事業センター
事業内容	ごみや資源物を指定の集積場所まで持ち出すことが困難な高齢者や障害者の世帯を対象に、ごみや資源物の戸別収集(無料)を行います。また、収集の際は必ず利用者へ声をお掛けすることで、安否の確認もを行います。					
評価の指標	利用世帯数: 27年度:290世帯 28年度:310世帯 29年度:330世帯					
27年度	目標値	290世帯	評点	S	評価	本事業につきましては、平成27年度末で、利用者世帯が 285世帯となっている。ごみと資源物の戸別収集及び顔合わせや声かけによる安否確認は適切に実施できている。
	実績	285世帯 (98.3%)			今後の取組	超高齢社会という本市の現状に対応するべく、事業体制の強化(増員増車等)を図っていく。
28年度	目標値	310世帯	評点	S	評価	本事業につきましては、平成28年度末で、利用者世帯が 328世帯となっている。ごみと資源物の戸別収集及び顔合わせや声かけによる安否確認は適切に実施できている。
	実績	328世帯 (105.8%)			実施して感じた課題	超高齢社会という本市の現状から、本事業の需要が増加している。また、安否確認のほか利用世帯の安心・安全に向けた取り組みを検討することも必要であると認識している。
					今後の取組	超高齢社会という本市の現状に対応するべく、事業実施にあたっての工夫を検討する。具体的には安心カプセルの提供や近年市内にて多発している特殊詐欺被害の防止啓発用のチラシ等を配布するなど利用世帯の安心・安全な生活に資する取り組みを検討する。
その他(自由記載)						

掲載ページ	79	事務事業名	配食サービス		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	すこやか支援プログラムの栄養改善事業を受けても低栄養の改善がみられない方や、うつ、閉じこもりにより通所のすこやか支援プログラムに参加できない方のうち低栄養の方に配食を行います。複数年において、ニーズがなかったことを踏まえ、新たな総合事業を検討する際に低栄養の方への支援についても検討します。					
27年度	評価	対象者がおらず実施していない。				
	今後の取組	継続する。29年度以降のあり方を検討する。				
	進捗状況	⑤未実施				
28年度	評価	対象者がおらず実施していない。				
	実施して感じた課題	対象者の把握が困難				
	今後の取組	28年度で事業を終了する				
	進捗状況	⑤未実施				
その他(自由記載)						

掲載ページ	79	事務事業名	生活支援サービス・介護予防基盤整備事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	<p>居宅要支援被保険者等に対して訪問サービス、通所サービスと一体的に実施することによりその効果が期待できる生活支援サービスを実施するにあたっては、NPO法人、民間企業、協同組合、ボランティアなど多様な主体が事業に参入してもらい、支援体制を整備していくことが必要です。これらの事業の担い手が地域の資源として機能するよう調整役(地域支え合い推進員)を配置して、互いに連携・協力できるように団体間のネットワークを構築します。なお、介護保険法の規定に基づいて一定期間事業の実施を猶予し、その間に事業実施のための生活支援サービスの担い手を把握するとともに、調整役(地域支え合い推進員)となる人材を育成するなどの準備作業を進めます。</p>				
27年度	評価	事業について検討した。			
	今後の取組	協議体の設置、コーディネーターの配置を検討する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	28年8月に第1層の協議体を設置し、年度末までに3回開催し課題の検討を進めた。			
	実施して感じた課題	地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)の配置及び実施主体については、本市の既存の取り組みとの整理・統合を進め、担う業務を明確化したうえで方向性を定める必要がある。			
	今後の取組	介護予防・日常生活支援総合事業を円滑に実施するため、地域のニーズや社会資源を見える化するともに、インフォーマルサービスの担い手の育成及びサービス開発等を担う「地域支え合い推進員」の設置に向けた調整を進めます。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	79	事務事業名	在日外国人高齢者・障害者等福祉給付金支給事業	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	<p>外国籍の高齢者等で、国民年金を受けるための要件を制度上満たすことができない方に、福祉給付金を支給します。</p>				
27年度	評価	外国籍を有する高齢者・障害者等の方で、国民年金を受けるために必要な要件を制度上満たすことができない人のために福祉給付金を支給した。			
	今後の取組	引き続き、外国籍の高齢者の自立を支援するため、住み慣れた家でできるだけ元気にいつまでも安心して生活できるように支援していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	外国籍を有する高齢者・障害者等の方で、国民年金を受けるために必要な要件を制度上満たすことができない人のために福祉給付金を支給した。			
	実施して感じた課題	今後は自然減となることが予想される。			
	今後の取組	引き続き、外国籍の高齢者の自立を支援するため、住み慣れた家でできるだけ元気にいつまでも安心して生活できるように支援していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

6-3 基本方針3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
(1) 高齢社会に対応した環境づくり

掲載ページ	80	事務事業名	自転車駐車場施設整備事業		担当課	安全対策課
事業内容	自転車を駐車しやすい環境づくりにより、高齢者の外出機会が増加するよう支援します。					
評価の指標	茅ヶ崎駅南口の自転車駐車場累計整備台数：各年度4,500台(25年度実績 4,117台)					
27年度	目標値	4,500台	評点	S	評価	幸町第二自転車駐車場の74台の新設、共恵自転車駐車場の170台を増設した。市営及び民間駐車場の合計4,611台となり、目標を達成した。
	実績	4,611台			今後の取組	茅ヶ崎駅南口の民間駐車場における閉鎖や新設といった台数の増減を注視しながら、今後も引き続き、自転車駐車場の整備を、地域の皆様等との協働により進めていく。
28年度	目標値	4,500台	評点	S	評価	市営及び民間駐車場の合計4,617台となり、目標を達成した。
	実績	4,617台			実施して感じた課題	民間駐車場の動向情報が得にくい。
					今後の取組	茅ヶ崎駅南口の民間駐車場における閉鎖や新設といった台数の増減を注視しながら、今後も引き続き、自転車駐車場の整備を、地域の皆様等との協働により進めていく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	80	事務事業名	商店街の魅力とにぎわいの創出事業		担当課	産業振興課
事業内容	商業の活性化を図るために地域商店街を支援し、魅力とにぎわいのある商店街を創出することにより、高齢者等が安心して買い物に訪れることができますようにします。					
評価の指標	補助金交付件数：各年度35件(25年度実績 37件)					
27年度	目標値	35件	評点	A	評価	交付件数は目標値を上回ることができなかったが、継続して地域商店街を支援することができた。実績に含まれる、にぎわい創出事業・販売促進事業以外にも安心・安全に資する商店街街路灯電灯料等の補助を実施している。
	実績	32件			今後の取組	今後も継続して地域商店街に対する支援を行い、高齢者等が安心・安全に買い物のできる環境づくりを目指していく。
28年度	目標値	35件	評点	A	評価	交付件数は目標値を上回ることができなかったが、継続して地域商店街を支援することができた。実績に含まれる、にぎわい創出事業・販売促進事業以外にも安心・安全に資する商店街街路灯電灯料や街路灯等の維持管理に関する費用に補助を実施している。
	実績	33件			実施して感じた課題	にぎわい創出事業において、直接的に高齢者を対象とした事業は実施されなかった。
					今後の取組	今後も継続して地域への商店街に対するイベント開催やチラシ作成等の補助金交付を行い、高齢者等が安心・安全に買い物のできる環境づくりを目指していく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	81	事務事業名	バリアフリー基本構想策定		担当課	都市政策課
事業内容	高齢者、障害者等の自立した日常・社会生活を確保するため、公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上を図るとともに、移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、関係者と協議し基本構想を作成します。基本構想の策定後には、基本構想に基づいた事業を実施するための特定事業計画を作成し、バリアフリー化事業を推進します。					
評価の指標	市バリアフリー基本構想推進協議会開催回数:27年度 4回 28年度 2回 29年度 2回					
27年度	目標値	4回	評点	S	評価	茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会を3回、事業者部会を1回開催し、平成27年9月に茅ヶ崎市バリアフリー基本構想を策定した。基本構想に定めた特定事業について、一部事業においては平成27年度中に実施された。
	実績	4回 (うち1回は部会)			今後の取組	引き続き茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会を開催し、特定事業の推進及びソフト面でのバリアフリー化を推進していく。
28年度	目標値	2回	評点	S	評価	茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会を1回、市民部会を3回開催した。基本構想に定めた特定事業について一定の進捗が図られるとともに、ソフト面でのバリアフリーの普及啓発について調査検討を行った。
	実績	4回 (うち3回は部会)			実施して感じた課題	施設等のバリアフリー化については、各事業者の経営状況等に左右されることから、計画どおりに推進させることの困難さを感じている。
その他(自由記載)	障害者差別解消法の施行等を契機に、バリアフリー化の重要性を訴求しつつ特定事業及びソフト面でのバリアフリー化を力強く推進していく。					

掲載ページ	81	事務事業名	住環境整備事業の調査・研究		担当課	都市政策課
事業内容	超高齢社会・人口減少社会を見据え、今後10年間で取り組む施策を定めた「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」を平成26年3月に策定しました。プランは「湘南茅ヶ崎らしい様々なライフステージに応じた住まいができるまち」を将来像とし、その実現のため「安心して住み続けられる住まいづくり」「まちを活性化する住まいづくり、住んでみたいと思う魅力ある住まい・住まい方づくり」「民間と連携・協働した住まいづくり」の3つの方針と、各取り組みを位置付けています。26年度からは、その取り組みについて推進をしていきます。					
評価の指標	茅ヶ崎市住まいづくり連絡協議会の運営回数:各年度 4回(25年度実績 5回)					
27年度	目標値	4回	評点	C	評価	茅ヶ崎市住まいづくり連絡協議会を2回開催し、住まいづくりアクションプランの施策である「住まいの相談窓口」及び「空き家利活用方策の検討」について議論を行った。アクションプラン全体の進行としては遅れている。
	実績	2回			今後の取組	「住まいの相談窓口」の開設、空き家利活用方策である「茅ヶ崎市空き家活用等マッチング制度」の創設を行う。併せて遅れているアクションプラン個別施策について、各年度にどの事業をどこまで進めるかを整理し、着実に事業に結びつける。
28年度	目標値	4回	評点	S	評価	茅ヶ崎市住まいづくり推進委員会を3回開催し、住まいづくりアクションプランの施策である「住まいの相談窓口」及び「空き家利活用マッチング制度」について議論を行い、施策に結びつけた。
	実績	3回			実施して感じた課題	空き家活用等マッチング制度は活用側の登録が予想に反して伸びていないため、分析を行い効果的な周知に努めたい。
その他(自由記載)	茅ヶ崎市住まいづくりアクションプランの個別施策である、特に高齢化が進捗する地区でのモデル的取組に向けて、平成29年度については検討を行う。					

掲載ページ	81	事務事業名	第2次ちがさき自転車プラン推進事業	担当課	都市政策課	
事業内容	平成26年4月に策定した「第2次ちがさき自転車プラン」の将来像である「人と環境にやさしい自転車のまち茅ヶ崎」を実現するため、高齢者も安全に自転車を利用できる環境をつくります。					
評価の指標	第2次ちがさき自転車プラン推進連絡協議会開催回数:各年度 2回					
27年度	目標値	2回	評点	S	評価	協議会に専門部会を設置して、本市のシェアサイクルの望ましいあり方を研究し、関係者と協働で事業を実施する下地を整えた。また、専門部会の報告をうけ、市として「茅ヶ崎市のシェアサイクル推進に係る基本的な考え方」を策定し、事業を開始した。
	実績	7回			今後の取組	引き続き、市民・事業者・行政機関等で組織する本会議において、安全で快適な自転車利用促進にむけた事業を検討・実施していく。(自転車安全利用ルールの周知徹底、走行空間づくり、利用促進など)
28年度	目標値	2回	評点	S	評価	ちがさき自転車プラン推進委員会を2回開催し、3つのまちづくりの方向性の進め方に沿って、着実に事業を推進することができた。
	実績	2回			実施して感じた課題	ルールやマナーの啓発活動をこれまでも行ってきたが、まだまだ浸透していない状況なので、今後も自動者及び自転車ドライバーへの効果的な啓発活動を行っていく。
					今後の取組	引き続き、市民・事業者・行政機関等で組織する本会議において、安全で快適な自転車利用促進にむけた事業を検討・実施していく。(自転車安全利用ルールの周知徹底、走行空間づくり、利用促進など)
その他(自由記載)						

掲載ページ	81	事務事業名	JR茅ヶ崎駅ホームの拡幅要請	担当課	都市政策課	
事業内容	神奈川県及び県内市町で構成する神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、国やJR東日本に対して茅ヶ崎駅ホーム拡幅等の要望活動を行います。					
評価の指標	要望活動回数:各年度 1回					
27年度	目標値	1回	評点	B	評価	国、JR東日本、地元選出国會議員に対して要望活動を行った。
	実績	1回			今後の取組	引き続き国やJR東日本等に対して要望を行っていく。
28年度	目標値	1回	評点	B	評価	国、JR東日本、地元選出国會議員に対して要望活動を行った。
	実績	1回			実施して感じた課題	駅ホームの拡幅には、大規模な改良工事が必要であるため、鉄道事業者としては長期的な課題として捉えられている。
					今後の取組	引き続き国やJR東日本等に対して要望を行っていく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	81	事務事業名	歩道段差改良工事業		担当課	道路管理課
事業内容	道路空間の利便性及び安全性の向上、高齢者・身体障害者等の移動に際しての負担軽減を目的に、歩道の段差解消や道路空間のバリアフリー化を実施していきます。					
評価の指標	工事か所(累積) 27年度:310箇所 28年度:320箇所 29年度:330箇所					
27年度	目標値	310箇所	評点	S	評価	歩道の段差や起伏を解消し、歩行者や自転車等の安全性の確保を図ることを目的に10箇所整備した。
	実績	349箇所			今後の取組	引続き、10箇所の整備を目標に実施します。
28年度	目標値	320箇所	評点	S	評価	歩道の段差や起伏を解消し、歩行者や自転車等の安全性の確保を図ることを目的に25箇所整備した。
	実績	374箇所			実施して感じた課題	施工箇所が集中してしまったので、広い範囲で多くの段差解消を実施していくことも重要であると認識しました。今後は現場の作業効率性を重視しつつ、施工範囲も考慮していきたいと思います。
					今後の取組	引続き、10箇所の整備を目標に実施します。
その他(自由記載)						

掲載ページ	82	事務事業名	コミュニティバス運行事業		担当課	都市政策課
事業内容	「茅ヶ崎市総合交通プラン」及び「茅ヶ崎市乗合交通整備計画」に基づき、公共交通の空白・不便地区の解消や、移動に制約のある高齢者等の支援を目的として、コミュニティバス及び予約型乗合バスを運行します。					
27年度	評価	バス停の移設、ルート変更及びダイヤ改正を実施し、利用者の利便性を向上させた。また、利用促進策としてスタンプラリーを初開催し、多くの方にご参加いただいた。その結果、利用者が増加し過去最高となった。				
	今後の取組	引き続き地域の実情に合わせた改善に取り組み、多くの方にご利用いただけるよう努める。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				
28年度	評価	ダイヤ改正、バス路線図の刷新、バス停移設を行ったほか、茅ヶ崎駅自由通路南側エレベーター壁面にデジタルサイネージを設置し、コミュニティバスの利便性を高めた結果、利用者数の最高値を更新した。				
	実施して感じた課題	1つ1つの取り組みを行うために膨大な時間と労力を要するため、少しでも短縮する工夫が必要である。				
	今後の取組	地域の実情に合わせた改善をきめ細かく行い、少しでも多くの方にご利用いただけるよう利用促進策の検討も並行して行う。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				
その他(自由記載)						

掲載ページ	82	事務事業名	茅ヶ崎市乗合交通整備計画推進事業	担当課	都市政策課
事業内容	「茅ヶ崎市乗合交通整備計画」に位置づけられた、乗合交通を快適に利用できる環境を整備する施策の一環として、国の移動等円滑化に関する基本方針に基づき、平成32年までに市内の路線バス車両の70%をノンステップバスとするため、交通事業者に対して補助を行い、ノンステップバス車両の導入を促進します。				
27年度	評価	ノンステップバスの導入率が41.4%となり少しずつではあるが増加している。			
	今後の取組	国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」では、全車両の70%をノンステップバスとすると定めているため、交通事業者と連携し地域公共交通会議において導入計画の策定を行い、早期の目標達成に努める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	ノンステップバスの導入率が42.4%となり少しずつではあるが増加している。			
	実施して感じた課題	ノンステップバスの導入については、交通事業者の経営判断に左右されてしまう。			
	今後の取組	交通事業者と情報及び課題を共有し、地域公共交通会議の事務局としてしっかりと役割を果たす必要がある。			
	進捗状況	③予定より遅れている			
その他(自由記載)					

掲載ページ	82	事務事業名	JR相模線北茅ヶ崎駅整備事業	担当課	都市政策課
事業内容	移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、1日当たり3千人以上の駅にはバリアフリー化が義務づけられているため、段差解消等のバリアフリー化とあわせて自由通路設置、駅舎橋上化等の整備の検討を行い、当駅利用者の安全性・利便性の向上、公共交通利用促進を図ります。				
27年度	評価	JR東日本と継続的に協議打合せを行っているが、具体的な進展は見られなかった。			
	今後の取組	平成25年度に実施した調査設計を基にJR東日本と協議を行ったところ、駅事務室のスリム化に伴うコストダウンが図れる見込みであるため、平成28年度にコストダウンに向けた検討を行う。			
	進捗状況	③予定より遅れている			
28年度	評価	JR東日本とコストダウンに向けた検討を継続して行っている。			
	実施して感じた課題	コストダウンに向けた検討を進めているが、抜本的なコストダウン案が見い出せていない状況。			
	今後の取組	JR東日本との協議を継続し、事業実施に向けた設計等を実施していく。			
	進捗状況	③予定より遅れている			
その他(自由記載)					

掲載ページ	82	事務事業名	「神奈川みんなのバリアフリーまちづくり条例」に基づく施設整備の推進	担当課	建築指導課
事業内容	誰もが利用できる施設整備を推進するため、公共的施設等について、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」に基づいた協議・指導を行います。				
27年度	評価	条例に該当する43施設の新築等の計画に際して、高齢者等が安心して利用できる施設となるよう、条例に基づく事前協議・指導を行い、バリアフリー化を推進した。ただし、既存施設を用途変更する計画等について、建物や敷地形状等の理由によりスロープ、誘導ブロックの対応できない計画もあったが、大規模で不特定多数の人が利用する市役所等の5施設については条例に適合する計画とした。			
	今後の取組	引き続き、公共性の高い施設の新築等の計画があった際には、条例に基づき事前協議・指導を行い、バリアフリー化を促進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	条例に該当する32施設の新築等の計画に際して、高齢者等が安心して利用できる施設となるよう、条例に基づく事前協議・指導を行い、バリアフリー化を推進した。その中でも大規模で不特定多数の人が利用する市立病院等の7施設については条例に適合するよう指導した。			
	実施して感じた課題	既存施設を用途変更する計画等について、建物や敷地形状等の理由により駐車場、スロープ、誘導ブロックの対応が難しい場合がある。			
	今後の取組	引き続き、公共性の高い施設の新築等の計画があった際には、条例に基づき事前協議・指導を行い、バリアフリー化を促進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	82	事務事業名	バリアフリー化や福祉のまちづくりを推進	担当課	建築指導課
事業内容	高齢者等が活動しやすいまちづくりを促進するため、不特定多数の利用する特定建築物等に対して「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づいた建築物のバリアフリー化を進めます。				
27年度	評価	公共性の高い新築施設の計画1件に、バリアフリー法に基づく指導を行いみんなのトイレ等を整備させ建築物のバリアフリー化を推進した。			
	今後の取組	引き続き、公共性の高い施設の新築等の計画があった際には、法に基づき、バリアフリー法を指導し建築物のバリアフリー化を促進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	公共性の高い新築施設の計画15件(民間施設12件、公共施設3件)に、バリアフリー法に基づく指導を行いみんなのトイレ等を整備させ、建築物のバリアフリー化を推進した。			
	実施して感じた課題	設計者のバリアフリー法の理解が不足しているため、法律を理解させるために時間を要することがある。			
	今後の取組	引き続き、公共性の高い施設の新築等の計画があった際には、法に基づき、バリアフリー法を指導し建築物のバリアフリー化を促進する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	82	事務事業名	狭あい道路及び生活道路整備事業	担当課	道路管理課
事業内容	狭あい道路については、建築に伴う後退用地を取得し、周辺については積極的に自主後退の協力要請を行っていきます。また、拡幅整備により、交通・災害等の都市機能の向上を図り、高齢者が外出しやすい、安心・安全なまちづくりを推進していきます。				
27年度	評価	建築確認申請時に当該地の両隣への自主後退協力要請を行い狭あい道路整備を実施するとともに、平成27年度より「提案型民間活用制度」導入し効果的・効率的な自主後退協力要請を行った。			
	今後の取組	引き続き、狭あい道路整備事業の防災対策からの視点からも、自主後退協力要請を重点的に行います。また、提案型民間活用制度を有効に活用し、狭あい道路整備事業を推進していきます。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	建築確認申請時に当該地の両隣への自主後退協力要請を行い、狭あい道路を整備推進することにより、交通・災害対策等都市機能の向上を図った。また、提案型民間活用制度による積極的な自主後退要請を実施した。			
	実施して感じた課題	自主後退協力要請については、後退用地に工作物があると、撤去等の申請者への負担があり、協力いただけない事がある。			
	今後の取組	狭あい道路整備事業の防災対策からの視点からも、建築確認申請に伴う後退用地買い取りのほか、積極的な自主後退協力要請を行います。また、提案型民間活用制度の27年度・28年度事業の検証を行い、29年度さらに有効活用し狭あい道路整備事業を推進していきます。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	82	事務事業名	道路改良事業・街路事業・歩道設置事業	担当課	道路建設課	
事業内容	高齢者をはじめ、誰でも安心して外出できるよう、道路、歩道の計画的整備を進めます。					
27年度	目標値	6.4km	評点	S	評価	歩道の整備延長として143mの整備を実施することができた。
	実績	8.0km			今後の取組	連続した区間の用地買収により順次、整備を行うことや暫定整備により、歩道として利用しながら、効率的な整備に努めていく。
28年度	目標値	6.7km	評点	S	評価	歩道の整備延長として216mの整備を実施することができた。
	実績	8.2km			実施して感じた課題	道路を拡幅する事業は完成までに期間を要し、事業の効果が発現されにくい。
					今後の取組	連続した区間の用地買収により順次、整備を行うことや暫定整備により、歩道として利用しながら、効率的な整備に努めていく。
その他(自由記載)						

6-3 基本方針3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
(2)安心・安全なまちづくり

掲載ページ	83	事務事業名	地域防犯活動推進事業		担当課	安全対策課
事業内容	地域防犯活動団体を中心とした防犯ネットワーク会議における防犯に関する情報提供や、地域防犯活動団体への防犯活動に使用する帽子、ベスト、腕章の貸与等により、地域防犯活動団体を育成・支援し、地域の防犯力を高め、安心して安全なまちづくりを推進します。					
評価の指標	地域防犯活動団体数 27年度:65団体 28年度:66団体 29年度:67団体					
27年度	目標値	65団体	評点	S	評価	地域防犯活動団体への防犯活動物品の貸与、寒川町及び茅ヶ崎警察署等の関係機関と連携した会議及び防犯活動団体の参加による防犯ネットワーク会議の開催をした。また、地域及び警察等と連携し、高齢者が多く被害者となっている振り込め詐欺の啓発を、戸別訪問により実施した。
	実績	74団体			今後の取組	地域防犯活動団体へ防犯活動物品の貸与を継続して支援する。また寒川町、警察及び関係団体等と連携して防犯体制をさらに強化するとともに、防犯ネットワーク会議の内容を参加型とし、団体間の情報共有向上による地域防犯力の向上を図り、高齢者が安心して暮らせるまちを目指す。
28年度	目標値	66団体	評点	S	評価	地域防犯活動団体への防犯活動物品の貸与、寒川町及び茅ヶ崎警察署等の関係機関と連携した会議及び防犯活動団体の参加による防犯ネットワーク会議の開催をした。防犯ネットワーク会議の内容では、参加型とし、団体間の情報共有向上による地域防犯力の向上を図った。
	実績	77団体			実施して感じた課題	自転車盗難やひったくりなどの身近に発生している犯罪は年々減少傾向にあるものの、被害が増加しているオレオレ詐欺をはじめとする振り込め詐欺について、地域防犯活動団体への情報提供や啓発の方法に工夫が必要。
					今後の取組	地域防犯活動団体へ防犯活動物品の貸与を継続して支援する。また寒川町、警察及び関係団体等と連携して防犯体制をさらに強化するとともに、啓発の内容及び方法を工夫し、高齢者が安心して暮らせるまちを目指す。
その他(自由記載)						

掲載ページ	83	事務事業名	犯罪の未然防止		担当課	安全対策課
事業内容	犯罪を未然に防ぐため、地域、茅ヶ崎警察署、行政等と連携した高齢者宅への戸別訪問を実施して、啓発チラシや啓発グッズの配布を行います。また、ちがさきメール配信サービスによる犯罪発生情報の配信、広報ちがさきへの記事掲載、防災無線による犯罪発生情報の放送など、茅ヶ崎警察署及び関係課と連携してさまざまな防犯対策を図ります。					
評価の指標	チラシ配布、メール配信等啓発活動数:各年度280回					
27年度	目標値	280回	評点	S	評価	防犯の未然防止対策として、茅ヶ崎・寒川犯罪ゼロ推進会議及び防犯ネットワーク会議における啓発活動が6回、ちがさきメール配信サービスによる犯罪情報配信が243回、広報ちがさきへの記事の掲載が13回、防災行政用無線による犯罪情報の放送が38回、自転車無灯火撲滅街頭指導における自転車盗に防犯啓発活動が12回、高齢者世帯戸別訪問が21回で、合計333回の活動を実施し、目標値を上回った。
	実績	333回			今後の取組	自転車無灯火撲滅街頭指導における啓発活動や高齢者宅戸別訪問による啓発活動を実施してきた実績を踏まえ、これまでの活動を継続して行うとともに、今後もさらに地域及び警察等との連携を深めて啓発活動を実施する。
28年度	目標値	280回	評点	S	評価	防犯の未然防止対策として、茅ヶ崎・寒川犯罪ゼロ推進会議及び防犯ネットワーク会議における啓発活動が5回、ちがさきメール配信サービスによる犯罪情報配信が243回、広報ちがさきへの記事の掲載が12回、防災行政用無線による犯罪情報の放送が51回、自転車無灯火撲滅街頭指導における自転車盗への防犯啓発活動が9回、自転車盗難撲滅ダブルロック推進キャンペーンが3回、地域及び警察等と連携した70歳以上の単身を含む世帯へ「こんな電話は詐欺！」チラシの各戸配付が1回で、合計324回の活動を実施し、目標値を上回った。
	実績	324回			実施して感じた課題	振り込め詐欺に関する啓発を継続的に実施しているが、被害の件数及び金額が増加している。
					今後の取組	自転車無灯火撲滅街頭指導における啓発活動や高齢者に対する啓発活動を実施してきた実績を踏まえ、これまでの活動を継続して行うとともに、今後もさらに地域及び警察等との連携を深めて啓発活動を実施する。
その他(自由記載)						

掲載ページ	83	事務事業名	交通安全に関する啓発活動の推進		担当課	安全対策課
事業内容	各季4回の交通安全運動、新入学児キャンペーン、市民総ぐるみ運動推進大会やグレースボール大会のほか、毎月10日には自転車無灯火撲滅キャンペーンを地域、ちがさき自転車プラン・アクション22、茅ヶ崎警察署、茅ヶ崎地区交通安全協会、行政及び関係機関等と連携して実施します。また、新たに自転車専用レーンの設置や法定外路面標示により整備した路線における啓発活動を地域と一緒に行うことで、交通安全の気運を高めると共に、交通安全対策を推進します。					
評価の指標	街頭キャンペーンの実施回数：各年度17回					
27年度	目標値	17回	評点	S	評価	各季の交通安全運動街頭キャンペーン、無灯火自転車撲滅街頭キャンペーン、信号機の変更に伴う啓発活動などを地域、茅ヶ崎警察署、茅ヶ崎地区交通安全協会等と連携して実施し、交通安全に関する啓発活動の実施回数は目標値を上回った。
	実績	35回			今後の取組	平成28年度についても、引き続き啓発活動を実施し、交通安全対策を推進する。特に高齢者に対する対策については、地域、茅ヶ崎警察署、茅ヶ崎地区交通安全協会との連携をより一層深めながら実施していく。
28年度	目標値	17回	評点	S	評価	各季の交通安全運動街頭キャンペーン、無灯火自転車撲滅街頭キャンペーン、ゾーン30に伴う啓発活動などを地域、茅ヶ崎警察署、茅ヶ崎地区交通安全協会等と連携して実施し、交通安全に関する啓発活動の実施回数は目標値を上回った。
	実績	26回			実施して感じた課題	関係機関と連携しながら多くの啓発活動を実施しているが、全人身交通事故に占める自転車及び高齢者が関係する人身交通事故は高い割合で推移しているため、継続した取組が必要である。
					今後の取組	平成29年度についても、引き続き啓発活動を実施し、交通安全対策を推進する。特に自転車利用者や高齢者に対する対策については、地域、茅ヶ崎警察署、茅ヶ崎地区交通安全協会との連携をより一層深めながら実施していく。
その他(自由記載)						

掲載ページ	84	事務事業名	シルバーセーフティドライビングスクール	担当課	安全対策課	
事業内容	茅ヶ崎警察署、茅ヶ崎市、寒川町で共催し、茅ヶ崎市と寒川町の高齢者ドライバーを対象に、安全な自動車の乗り方について指導するほか、自転車の車道走行への理解、歩行時や自転車利用時に係る交通安全や、交通事故の状況、対応方法などの講話を行うなど、高齢者が事故の当事者にならないよう、交通安全対策を図ります。					
評価の指標	申込定員に対する参加者割合：各年度100%					
27年度	目標値	100%	評点	S	評価	シルバーセーフティドライビングスクールについては、寒川町、茅ヶ崎警察署及び茅ヶ崎交通安全協会と連携して、京急茅ヶ崎自動車学校のご協力をいただき開催し、定員に対する参加者割合が目標値に達した。
	実績	100%			今後の取組	平成28年度についても、前年度に引き続きシルバーセーフティドライビングスクールを開催する。市内において全人身交通事故に占める高齢者が関係する事故が高い割合で推移している現状を踏まえ、今後は定員の拡大等について検討する。
28年度	目標値	100%	評点	S	評価	シルバーセーフティドライビングスクールについては、寒川町、茅ヶ崎警察署及び茅ヶ崎交通安全協会と連携して、京急茅ヶ崎自動車学校のご協力をいただき開催し、定員に対する参加者割合が目標値に達した。
	実績	100%			実施して感じた課題	市内において全人身交通事故に占める高齢者が関係する事故が高い割合で推移している現状を踏まえ、今後は定員の拡大等について検討する。
					今後の取組	平成29年度についても、前年度に引き続き関係機関と連携しながらシルバーセーフティドライビングスクールを開催する。
その他(自由記載)						

掲載ページ	84	事務事業名	自転車教室の開催	担当課	安全対策課
事業内容	高齢者を対象とした自転車教室を実施し、交通ルールの再確認及び運転マナーの向上のほか、自らの運転能力や反射神経について認識する機会を提供します。				
27年度	評価	高齢者を対象とした交通安全教室を開催することにより、自転車の交通ルールの遵守や運転マナーの向上につながっていると考えている。			
	今後の取組	平成28年度についても、前年度に引き続き交通安全教室を開催するとともに、地域の皆様に、地域において高齢者を対象とした交通安全教室を開催していただけるよう積極的に働きかけを行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	高齢者を対象とした交通安全教室を開催することにより、自転車の交通ルールの遵守や運転マナーの向上につながっていると考えている。			
	実施して感じた課題	交通安全教室について、毎年度ほぼ同じ団体への開催となっているため、より多くの方々に向けて開催できるようにする必要がある。			
	今後の取組	平成29年度についても、前年度に引き続き交通安全教室を開催するとともに、地域の皆様に、地域において高齢者を対象とした交通安全教室を開催していただけるよう積極的に働きかけを行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	84	事務事業名	相談業務事業	担当課	市民相談課
事業内容	市民が抱えるさまざまな悩みや不安を解消し、安心して生活ができるよう各種相談窓口を開設するなど相談体制を整備します。				
27年度	評価	あらゆる広報媒体を活用して各種相談窓口の周知を図りながら、市民ニーズに的確に対応した相談窓口を開設するとともに、「市民相談のまとめ」を作成し、市ホームページ等で公表した。			
	今後の取組	引き続き、関係機関、関係団体と連携を図りながら、市民の様々な悩みや不安の解消を図るべく、各種相談窓口を開設する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	あらゆる広報媒体を活用して各種相談窓口の周知を図りながら、市民ニーズに的確に対応した相談窓口を開設するとともに、「市民相談のまとめ」を作成し、市ホームページ等で公表した。			
	実施して感じた課題	各種相談窓口の、よりよい周知の方法を探っていく。			
	今後の取組	引き続き、関係機関、関係団体と連携を図りながら、市民の様々な悩みや不安の解消を図るべく、各種相談窓口を開設する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	84	事務事業名	消費者啓発事業	担当課	市民相談課
事業内容	出前講座や講演会を開催して消費者問題に関する情報提供や啓発をすることにより、消費者被害の未然防止に努めます。				
27年度	評価	関係機関や関係団体と連携し、消費者月間街頭キャンペーンをはじめとする様々なイベントにおいて悪徳商法についての注意喚起を図るとともに、消費者としての基本的な知識を身に着けるため、消費生活出前講座や消費生活展記念講座等を開催した。			
	今後の取組	引き続き、関係機関や関係団体と連携を図りながら、様々なイベントや講座等を開催し、消費者被害未然防止についての啓発活動を実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	関係機関や関係団体と連携し、消費者月間街頭キャンペーンをはじめとする様々なイベントにおいて悪徳商法についての注意喚起を図るとともに、消費者としての基本的な知識を身に着けるため、消費生活出前講座や消費生活展記念講座等の各種講座を開催した。			
	実施して感じた課題	様々な形で啓発活動を実施していますが、消費者トラブル等による相談件数は横ばいであり、総体的に被害の減少という結果には至っていない。			
	今後の取組	引き続き、関係機関や関係団体と連携を図りながら、様々なイベントや講座等を開催し、消費者被害未然防止についての啓発活動を実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	84	事務事業名	消費生活相談事業	担当課	市民相談課
事業内容	社会環境の変化とともに多様化・複雑化してきている消費生活問題について、消費生活相談での助言やあっせん、情報提供を行います。				
27年度	評価	経済のグローバル化、サービスの多様化等により消費者を取り巻く環境は大きく変化しています。平成27年度の相談件数はほぼ横ばいですが、相談内容はさらに複雑・多様化しています。そのため、消費者である市民へ適切な助言を行うとともに、専門機関等への紹介を行う。			
	今後の取組	寒川町との相談窓口の広域連携を継続的に開設するとともに、引き続き消費者被害の未然防止を図るため、啓発活動の実施と市民への適切な助言を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	経済のグローバル化、サービスの多様化等により消費者を取り巻く環境は複雑・多様化しています。平成28年度の相談件数はほぼ横ばいですが、相談内容はさらに困難さを増しており、引き続き消費者である市民へ適切な助言を行うとともに、専門機関等への紹介を行う。			
	実施して感じた課題	様々な形で啓発活動を実施していますが、消費者トラブル等による相談件数は横ばいであり、相談体制の強化、維持により、適切な相談対応は実施していますが、総体的に被害の減少という結果には至っていない。			
	今後の取組	寒川町との相談窓口の広域連携を継続的に実施するとともに、引き続き消費者被害の未然防止を図るため、啓発活動の実施と市民への適切な助言を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	84	事務事業名	質の高い救急業務の提供	担当課	警防救命課
事業内容	高度化する救命処置に対応するために、救急救命士を計画的に養成・育成し、一定数を継続して確保することにより、質の高い救急業務を維持します。また、市民の救命率を向上させることを目的とし、市内の公共施設等に設置しているAED(自動体外式除細動器)を定期的に管理します。救命講習会を受講しやすい環境に整え、より多くの市民が受講することにより、いざという時に応急手当等ができる市民を増やします。				
27年度	評価	救急救命士の育成については既資格者に対し継続的に定期研修等を実施していますが、平成27年度は新たに救急救命士の処置拡大に伴う研修が開催され、職員を派遣し、救急現場において高度な救命処置の実施に繋がった。			
	今後の取組	超高齢社会の到来に伴う救急需要の増加とともに救命処置の高度化による搬送時間の延長が予測されるため、今後も継続して事業を進めていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	救急救命士の育成については、既資格者に対し継続的に病院実習等を実施しました。また、平成27年度に引き続き、救急救命士の処置拡大に伴う研修が開催され、職員を派遣し、救急現場において高度な救命処置の実施に繋がった。			
	実施して感じた課題	質の高い救急業務を維持するために、救急救命士を含む全救急隊員に対し、継続的な研修等が必要だと感じた。			
	今後の取組	高齢化社会に伴う救急需要の増加を考慮し、今後も継続して事業を進めていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

6-3 基本方針3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
(3)災害に強いまちづくり

掲載ページ	85	事務事業名	災害時に支援が必要な方の情報の一元化(避難行動要支援者名簿)		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、災害時に支援が必要な方の情報として作成する避難行動要支援者名簿の更新作業を行います。また、災害時の要援護者支援は、地域における日頃の顔の見える関係づくりと避難支援方策の検討が必要であることから、避難行動要支援者名簿の対象者のうち、事前に地域に情報を提供することに同意した方の情報を定期的に自治会・自主防災組織等へ情報提供します。					
評価の指標	避難行動要支援者名簿の更新:各年度12回					
27年度	目標値	12回	評点	S	評価	平成27年11月の地域防災計画の修正において、特に支援が必要な方を避難行動要支援者として定義し、その対象者を位置づけ名簿を作成しました。また、1月に一度名簿情報の更新作業をしました。
	実績	12回			今後の取組	引き続き、名簿の更新作業に努めます。
28年度	目標値	12回	評点	S	評価	平成27年11月の地域防災計画の修正において、特に支援が必要な方を避難行動要支援者として定義し、その対象者を位置づけ名簿を作成しました。また、1月に一度名簿情報の更新作業をしました。
	実績	12回			実施して感じた課題	避難行動要支援者名簿作成にあたり、本人からの同意確認書に不備が多く問い合わせに時間を要する。
					今後の取組	引き続き、名簿の更新作業に努めます。また、今後は避難支援等関係者(自治会・自主防災組織等)に年2回の情報提供を行います。
その他(自由記載)						

掲載ページ	85	事務事業名	災害時に支援が必要な方の情報の一元化(避難行動要支援者名簿)		担当課	障害福祉課
事業内容	災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、災害時に支援が必要な方の情報として作成する避難行動要支援者名簿の更新作業を行います。また、災害時の要援護者支援は、地域における日頃の顔の見える関係づくりと避難支援方策の検討が必要であることから、避難行動要支援者名簿の対象者のうち、事前に地域に情報を提供することに同意した方の情報を定期的に自治会・自主防災組織等へ情報提供します。					
評価の指標	避難行動要支援者名簿の更新:各年度12回(25年度 実績なし)					
27年度	目標値	12回	評点	S	評価	平成27年11月の地域防災計画の修正において、特に支援が必要な方を避難行動要支援者として定義し、その対象者を位置づけ名簿を作成した。また、1月に一度名簿情報の更新作業をした。
	実績	12回			今後の取組	引き続き、名簿の更新作業に努める。
28年度	目標値	12回	評点	S	評価	平成29年2月に、避難行動要支援対象者に対し、制度説明通知及び同意確認書を送付し、返送するよう案内した。また、返送された同意確認書に基づき、名簿情報の登録を行った。
	実績	12回			実施して感じた課題	対象者数の返送件数の割合が5割程度となっている。地域への説明会等を通して周知を行っているが、対象者への制度周知が足りていない。
					今後の取組	広報紙・市政情報誌・市ホームページ等の広報媒体の活用、自治会・民生委員・児童委員等の協力を得て、制度の周知を図る。
その他(自由記載)						

掲載ページ	85	事務事業名	耐震改修促進計画事業		担当課	建築指導課
事業内容	国の基本方針及び県の耐震改修促進計画を勘案して、平成20年3月に策定した茅ヶ崎市耐震改修促進計画(茅ヶ崎たいあつぷ90)とそれを後押しする実施計画により、計画的な耐震化の推進を行います。高齢者等の世帯が建物の耐震診断・改修を導入しやすい環境を整備するために、高齢者等に係る耐震診断や耐震補強への割増補助等を設け、効果的かつ効率的に建築物の耐震改修等を推進します。					
評価の指標	高齢者世帯等に関する耐震診断補助金の割増(件数):各年度10件(25年度実績 9件)					
27年度	目標値	耐震診断10件(耐震補強20件)	評点	S	評価	周知方法の検証を積み重ねた結果、木造住宅の耐震診断・改修に係る補助金等の申請件数が増加した。
	実績	耐震診断23件(耐震補強30件)			今後の取組	高齢者世帯等に関する耐震化施策については今後も継続して行っていく。 また、耐震化率に直接影響しないが家具転倒防止が初期避難に重要であることから、高齢者等の避難弱者を対象に金具取付支援を行っていく。
28年度	目標値	耐震診断10件(耐震補強26件)	評点	S	評価	周知方法の検証を積み重ねた結果、木造住宅の耐震診断・改修に係る補助金等の申請件数が高い水準で維持された。
	実績	耐震診断8件(耐震補強23件)			実施して感じた課題	高齢者等の避難弱者を対象に家具転倒防止金具取付支援を行っているが、取付をボランティアに依頼しているため需要に対して支援が追いついていない状況である。
その他の取組	今後の取組 高齢者世帯等に関する耐震化施策については今後も継続して行っていく。 また、家具転倒防止金具取付支援については、地域における取付の担い手を養成し、各地域で自立して高齢者世帯へのサポートができるように支援する。					
その他(自由記載)						

掲載ページ	85	事務事業名	災害時要援護者支援制度の周知		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	災害時に支援が必要な方の迅速な対応を進めるために、自治会・自主防災組織、民生委員児童委員等の協力を得ながら、制度の周知を図ります。					
27年度	評価	周知に取り組んだ。				
	今後の取組	平成27年度に実施した在宅高齢者実態調査の際に、民生委員・児童委員の協力のもと支援が必要であると思われる方に対し、制度の説明を行うとともに、登録申請書の記載支援を行い、約100名登録者が増加した。高齢者のためのガイドにおいても特集ページにより自助の取り組みの一つとして制度への登録を周知した。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				
28年度	評価	意見交換会及び地域での制度説明を行い周知に取り組んだ。				
	実施して感じた課題	特に支援が必要な方に制度へ登録していただくために、さらに周知を図る必要がある。				
	今後の取組	平成28年度8月より避難行動要支援者支援制度に移行する。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				
その他(自由記載)						

掲載ページ	85	事務事業名	地域におけるネットワークづくりの支援	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	講演会や研修会の開催により、各地域での要援護者支援体制づくりを支援するとともに、平常時からの顔の見える関係づくりを進めることが災害時の迅速な避難支援につながるようになるため、地域における要援護者を対象とした交流会の開催を支援します。				
27年度	評価	講演会、研修会、学び講座、交流会等の支援メニューを周知し、地域の要請に対応した。			
	今後の取組	講演会及び研修会を開催し、避難支援体制づくりの必要性を参加者と共有した。また、自治会等からの要請により、学び講座において、制度の概要を説明するとともに、交流会開催の支援を行った。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	講演会及び研修会を開催し、避難支援体制づくりの必要性を参加者と共有した。また、自治会等からの要請により、学び講座において、制度の概要を説明するとともに、交流会開催の支援を行った。			
	実施して感じた課題	避難支援体制づくりの必要性を周知する必要がある。			
	今後の取組	講演会及び研修会を開催し、避難支援体制づくりの必要性を参加者と共有した。また、自治会等からの要請により、学び講座において、制度の概要を説明するとともに、交流会開催の支援する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	86	事務事業名	災害時における継続的な介護サービス提供のあり方の検討	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	平常時に介護サービスを利用している方が災害においても継続してサービスが受けられるよう介護事業者と協議を進め、災害時における継続的な介護サービス提供のあり方を検討することでその仕組みや支援の考え方を共有します。				
27年度	評価	介護事業所連絡会防災部会と災害時における継続的な介護サービス提供のあり方を検討した。			
	今後の取組	介護事業所連絡会防災部会においてマニュアルづくりが進められているため、災害時における行政の仕組みとのマッチングを図るため検討を進める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	介護事業所連絡会防災部会と災害時における継続的な介護サービス提供のあり方を検討した。			
	実施して感じた課題	災害時における高齢者の支援体制を構築するにあたり、様々な主体の方とどう連携していくか検討していく必要がある。			
	今後の取組	介護事業所連絡会防災部会においてマニュアルづくりが進められているため、災害時における行政の仕組みとのマッチングを図るため検討を進める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	.86	事務事業名	災害情報の伝達体制の充実	担当課	防災対策課
事業内容	災害情報を伝達する手段である防災行政用無線、テレドーム、メール配信サービス、エリアメール、tvkデータ放送、防災ラジオ等の整備、周知、配付を進め、災害情報を高齢者に確実に伝達する体制を充実させていきます。				
27年度	評価	災害情報については、防災行政用無線を使用して伝達していますが、難聴地域への対策として平成25年に防災ラジオを開発し、市民の皆様へ有償配布を開始した。また、敬老大会の機会を通じて直接高齢者の方へ啓発を実施し、販売台数の増加とともに、災害情報の伝達手段の確保が図られた。			
	今後の取組	引き続き、災害情報の配信について、確実に市民の皆様へ伝わるよう、防災行政用無線、防災ラジオ、ツイッター、メール配信サービス、エリアメール、tvk(地上デジタル放送によるデータ放送)、市公式ホームページ、広報紙等あらゆる手段を用いて発信する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	災害情報については、防災行政用無線を使用して伝達しているが、無線が聞こえづらい地域への対策として平成25年に防災ラジオを開発し、市民の皆様へ有償配布を開始した。また、敬老大会の機会を通じて直接高齢者の方へ啓発を実施し、販売台数の増加とともに、災害情報の伝達手段の確保が図られた。			
	実施して感じた課題	メール配信サービスやtvkデータ放送など、防災ラジオ以外のシステムについても積極的に活用していただけるよう、より一層の周知が必要と感じた。			
	今後の取組	引き続き、災害情報の配信について、確実に市民の皆様へ伝わるよう、防災行政用無線、防災ラジオ、ツイッター、メール配信サービス、エリアメール、tvkデータ放送、市公式ホームページ、広報紙等あらゆる手段を用いて発信する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	86	事務事業名	地域で助け合える体制の充実	担当課	防災対策課
事業内容	高齢者を含む地域住民が災害時に地域で互いに助け合えるよう、自主防災組織の活動をより計画的かつ効性の高い活動をするための支援、地域の自主防災活動において中心的な役割を担う防災リーダーの育成、より効果的な防災訓練の実施支援を行います。				
27年度	評価	地域の防災意識の向上や災害時における地域の中心的役割を担っていただく、防災リーダー養成研修会を2回開催し、延べ196人の方に受講いただいた。研修では、高齢介護福祉課職員も講師となり、災害時における高齢者の支援について研修を行った。また、災害発生時における円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、災害対策基本法の改正に伴う「避難行動要支援者名簿」の作成について、茅ヶ崎市地域防災計画に位置付け地域等との取組をすすめることとした。			
	今後の取組	高齢者に対する支援について、地域の支え合いが重要であることから、引き続き防災リーダーの養成研修会や講演会などを通じて支援を行ない、地域において「避難行動要支援者名簿」が有効に機能するよう安否確認から避難行動支援に繋がる訓練の実施について地域に支援していく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	防災意識の向上を図り、災害時において地域の中心的役割を担っていただく、防災リーダーの養成研修会を2回開催し、延べ170人の方に受講いただいた。研修会では、避難行動要支援者に関する取り組みについても周知を図った。地区防災訓練では、複数の地区に協力いただき、地域の安否情報や被災情報を収集するための情報伝達訓練を実施した。			
	実施して感じた課題	防災リーダー養成研修会については、今後は、実技指導よりも、日頃の顔の見える関係づくりや地域での支えあいの重要性を発信していくことに比重を置くべきだと感じた。			
	今後の取組	防災リーダー養成研修会において、高齢者に対する支援の重要性の理解度の向上を目指すとともに、地域において「避難行動要支援者名簿」が有効に機能するよう安否確認から避難行動支援につながる訓練の実施について地域に支援を行っていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	86	事務事業名	高齢者のための福祉避難所の確保	担当課	防災対策課
事業内容	災害対策地区防災拠点(公立小中学校)での避難生活が困難な高齢者を受け入れるための福祉避難施設の確保を進めます。				
27年度	評価	26施設を福祉避難施設として協定を締結(平成29年1月13日現在)しており、連絡手段の確保として19施設とMCA無線機を設置、毎月1回通信訓練を実施している。			
	今後の取組	在宅避難や災害対策地区防災拠点での避難生活が困難な高齢者について、引き続き関係課と協力し、支援を進める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	福祉避難施設として協定を締結している事業所と、災害時における連絡体制を強固なものとするため、無線により定期的な訓練を実施している。			
	実施して感じた課題	無線の訓練にとどまらず、福祉避難施設として開設する際の連絡等を想定した訓練の必要性を感じた。			
	今後の取組	在宅避難や災害対策地区防災拠点での避難生活が困難な高齢者について、引き続き関係課と協力し、支援を進める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	86	事務事業名	高齢者のための福祉避難所の確保	担当課	障害福祉課
事業内容	災害対策地区防災拠点(公立小中学校)での避難生活が困難な高齢者を受け入れるための福祉避難所の確保を進めます。				
27年度	回答なし				
28年度	評価	障害児者施設では5か所の福祉避難所を確保している。12地区自治会連合会にて実施される、防災訓練において、福祉避難施設の職員に参加を依頼した。2次避難所(福祉避難施設)との意見交換会を行い、災害時でも適切なサービスを受けることができるよう協定内容の確認や訓練等の実施について検討を行った。			
	実施して感じた課題	福祉避難所として求める具体的なイメージが明確でないため、課題が見えていない部分がある。各施設には利用者があり、更なる障害児者の受入については、平常時からの備えが必要であるとともに、災害時の受入人数には限りが出てしまうことも懸念される。また、施設により協定内容が異なっているため、その整理が必要である。			
	今後の取組	新たに設置される福祉避難所に対し、2次避難所として協定を締結できるよう働き掛け、より多くの障害者の方が支援を受けられるよう協議を行う。福祉避難所(障害)の運営内容の見直しをすすめるとともに、新たな福祉避難所として協定できる施設を検討する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	86	事務事業名	高齢者のための福祉避難所の確保	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	災害対策地区防災拠点(公立小中学校)での避難生活が困難な高齢者を受け入れるための福祉避難所の確保を進めます。				
27年度	評価	各地区の防災訓練等に参加し、高齢者に配慮した避難所の開設・運営についてお願いした。			
	今後の取組	引き続き、高齢者に配慮した避難所の開設・運営に向け、関係者の協力を求める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	各地区の防災訓練等に参加し、高齢者に配慮した避難所の開設・運営についてお願いした。			
	実施して感じた課題	福祉避難所の確保(拡大)。			
	今後の取組	引き続き、高齢者に配慮した避難所の開設・運営に向け、関係者の協力を求める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	86	事務事業名	高齢者に配慮した避難所運営体制の整備	担当課	防災対策課
事業内容	高齢者に配慮した避難所の開設・運営が行われるよう避難所運営マニュアルを継続的に改善します。				
27年度	評価	6月から7月において、32校の小・中学校において避難所打合せ会を実施し、学校関係者、配備職員及び地域住民などを交え打合せ会を実施、高齢者や障害者に配慮した避難所運営の話し合いを行った。			
	今後の取組	今後は、高齢者や障害者に配慮した避難所運営が行われるよう避難所運営マニュアルの点検・見直しを行なう。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	5月から6月にかけて、避難所となる各小中学校の学校関係者と拠点配備職員で打ち合わせを行い、避難所運営マニュアルの内容を確認するとともに、必要に応じて修正を行った。			
	実施して感じた課題	打ち合わせが形骸化しないよう、災害発生時を想定した実効的なマニュアルづくりの必要性を感じた。			
	今後の取組	既存の避難所運営マニュアルをベースとしつつ、今後は高齢者や障害者に配慮した避難所運営が行われるよう、不断の見直しを行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	86	事務事業名	高齢者に配慮した防災備蓄の整備	担当課	防災対策課
事業内容	高齢者に配慮した防災備蓄品の整備及び高齢者向け備蓄品の災害対策地区防災拠点(公立小中学校)及び福祉避難施設への備蓄を進めます。				
27年度	評価	毛布や乾燥米飯と合わせ、高齢者でも食べやすい茅ヶ崎産おかゆの更新を行なった。			
	今後の取組	引き続き、高齢者に配慮した備蓄品の整備を進める。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	賞味期限の切れた乾燥米飯をアレルギー対応のものに更新するとともに、高齢者でも食べやすいおかゆの整備を進めた。			
	実施して感じた課題	市での備蓄には限界があるため、自己備蓄のさらなる推進に取り組む必要があると感じた。			
	今後の取組	要配慮者に配慮した生活必需物資等の検討や備蓄の整備を進めるとともに、自己備蓄の推進と、流通備蓄の確保に努めます。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	86	事務事業名	都市防災推進事業	担当課	都市政策課
事業内容	平成20年度に実施した「地震による地域危険度測定調査」を踏まえ、21年度より個人・地域から進める防災都市づくりをテーマとした「防災都市づくりワークショップ」を実施しています。引き続き各地域における自主的な防災都市づくりに関する仕組みと効果的な支援のあり方について、地域住民と検証します。				
27年度	評価	ワークショップを従来とは手法を変え、中学生(松林中学校)を主体に松林地区で4回実施。体験学習やまち歩きにより災害のイメージを高め、防災だけの視点ではなく福祉など様々な視点からまちづくりを進めるためのアクションプログラムを作成した。中学生を主体にしたことにより、大人を補う意見が出てきており、今後は大人との融合をより進めていく必要がある。			
	今後の取組	平成27年度に実施した松林地区では、アクションプログラムを実行し、取組結果等を地域住民に周知するためシンポジウムを開催予定。平成28年度は湘北地区でワークショップの開催を予定しており、引き続き地域における自主的な防災都市づくりについて検討を進めていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	災害時を想定しながら体験学習やまち歩きを行い、防災だけの視点ではなく福祉など様々な視点からまちづくりを進めるためのアクションプログラムを作成し、地域防災力の向上のきっかけ作りを行うことができた。			
	実施して感じた課題	中学生を主体に検討したアイデアの実行に向けて、地域の大人との融合をより進めていく必要がある。また、今後も地域として取り組みを継続していくためには、中学校と地域の連携を深めていく必要がある。			
	今後の取組	平成28年度に実施した湘北地区では、アクションプログラムを実行し、取組結果等を地域住民に周知するため平成29年9月頃にシンポジウムを開催予定。29年度は鶴嶺東地区でワークショップの開催を予定しており、引き続き地域における自主的な防災都市づくりについて検討を進めていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

6-3 基本方針3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
(4) 高齢者の住まいの確保

掲載ページ	87	事務事業名	高齢者住宅生活援助員派遣事業		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	住宅施策と福祉施策の連携により高齢者の生活特性に配慮した市営松林住宅の入居者に対し生活援助員を派遣し、自立した安全かつ快適な生活を営めるよう見守りを行います。					
評価の指標	相談件数:各年度120件					
27年度	目標値	相談件数 120件	評点	S	評価	高齢者住宅の入居者に対して、老人福祉施設等から生活援助員(LSA)を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供した。
	実績	144件			今後の取組	引き続き、入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、在宅生活を支援する。
28年度	目標値	相談件数 120件	評点	S	評価	高齢者住宅の入居者に対して、老人福祉施設等から生活援助員(LSA)を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供した。
	実績	209件			実施して感じた課題	入居者が、今後でもできる限り自立した在宅生活を続けられるよう、サービスの提供を継続し、支援を行う必要がある。
					今後の取組	引き続き、入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、在宅生活を支援する。
その他(自由記載)						

掲載ページ	87	事務事業名	高齢者等居住支援事業		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	高齢者の居住の安定を確保するために、高齢者であることを理由に入居を拒まない賃貸住宅を斡旋促進する住まい探し相談会を開催します。					
評価の指標	相談回数、来場件数:各年度6回、30件					
27年度	目標値	相談回数 6回 来場件数 30件	評点	A	評価	高齢者の居住の安定を確保するため、高齢者の住まい探し相談会を実施し、高齢者であることを理由に入居を拒まない賃貸住宅の斡旋を行った。目標値である相談回数の6回は達成したが、来場件数は目標値の30件を下回った。
	実績	相談回数 6回 来場件数 9件			今後の取組	引き続き住まい探し相談会を実施し、高齢者の居住の安定の確保を図る。
28年度	目標値	相談回数 6回 来場件数 30件	評点	A	評価	高齢者の居住の安定を確保するため、高齢者の住まい探し相談会を実施し、高齢者であることを理由に入居を拒まない賃貸住宅の斡旋を行った。目標値である相談回数の6回は達成したが、来場件数は目標値の30件を下回ったが、前年度より1件多かった。
	実績	相談回数 6回 来場件数 10件			実施して感じた課題	毎年、相談件数が10件程度にとどまっていることから、相談の需要の見込みについて、見極めていく必要がある。
					今後の取組	引き続き住まい探し相談会を実施し、周知用のチラシなどにも工夫を行い、高齢者の居住の安定の確保を図る。
その他(自由記載)						

掲載ページ	87	事務事業名	市営住宅の維持管理		担当課	建築課
事業内容	市営住宅ストックをバリアフリー対応等の良質なストックとして将来世代に継承していくため、「茅ヶ崎市営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画修繕を効果的・効率的に行うほか、浴槽のまたぎの高さ等、高齢者にも配慮した浴槽の整備などの改善事業を実施し、住宅セーフティネットとしての居住性や安全性の確保を図ります。(ストック:既存建築物 市営住宅ストック:既存の市営住宅)					
評価の指標	給湯設備整備戸数:各年度9戸					
27年度	目標値	9戸	評点	S	評価	平成27年度目標値である9戸を上回る15戸の給湯設備の整備を実施し、より多くの住戸の居住性や安全性の向上に努めた。
	実績	15戸			今後の取組	平成28年度は15戸、平成29年度は6戸の給湯設備を整備する予定であり、最終的には平成27年度から平成29年度までの目標値を上回る36戸を整備する予定である。
28年度	目標値	9戸	評点	S	評価	平成28年度目標値である9戸を上回る15戸の給湯設備の整備を実施し、より多くの住戸の居住性や安全性の向上に努めた。
	実績	15戸			実施して感じた課題	工事期間中は入居者に在宅をお願いしていますが、在宅が不可能であるため、整備を見送った住戸がありました。今後の計画の中で整備する予定です。
					今後の取組	平成29年度は6戸の給湯設備を整備する予定であり、引き続き居住性や安全性の向上に努めていきます。
その他(自由記載)						

掲載ページ	87	事務事業名	高齢者福祉団体負担金・補助金事業		担当課	高齢福祉介護課
事業内容	茅ヶ崎市・藤沢市・寒川町で設立した、社会福祉法人湘南広域社会福祉協会の運営費等を負担するとともに、養護老人ホーム湘風園の再整備について検討します。					
27年度	評価	2市1町で事業運営を行い、市民ニーズに対応できた。				
	今後の取組	茅ヶ崎市・藤沢市・寒川町で事業運営を行う。並行して、湘南広域都市行政協議会事務研究部会の分科会において、あり方について検討、協議を行う。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				
28年度	評価	2市1町で事業運営を行い、市民ニーズに対応できた。				
	実施して感じた課題	養護老人ホーム湘風園の再整備について、2市1町と湘風園とで、より一層の検討が必要である。				
	今後の取組	茅ヶ崎市・藤沢市・寒川町で事業運営を行う。また、並行して湘南広域都市行政協議会事務研究部会の分科会において、養護老人ホーム湘風園の今後のあり方、再整備基本構想策定に係るプロポーザルを実施し具体的な検討、協議を行う。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				
その他(自由記載)						

掲載ページ	87	事務事業名	養護老人ホームへの入所措置	担当課	高齢福祉介護課
事業内容	老人福祉法の規定に基づき、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置し、生活を支援します。				
27年度	評価	老人福祉法の規定に基づき、次のとおり、適切に措置を実施した。 ・対象となる高齢者について、ケースワーカーが相談に応じ、茅ヶ崎市養護老人ホーム入所判定委員会において入所措置の可否を判定した後、措置を行った。 ・入所者を定期的に訪問し、心身の状況等を把握し、処遇方針を決定した。			
	今後の取組	老人福祉法の規定に基づき、適切に措置を実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	老人福祉法の規定に基づき、次のとおり、適切に措置を実施した。 ・対象となる高齢者について、ケースワーカーが相談に応じ、茅ヶ崎市養護老人ホーム入所判定委員会において入所措置の可否を判定した後、措置を行った。 ・入所者を定期的に訪問し、心身の状況等を把握し、処遇方針を決定した。			
	実施して感じた課題	高齢者虐待により在宅での生活が困難となった高齢者の生活の場の確保等、対応の難しい案件が増加しており、ケースワーカーのスキルアップが求められる。			
	今後の取組	老人福祉法の規定に基づき、適切に措置を実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					

掲載ページ	88	事務事業名	住み慣れた地域内での良好な住宅の整備促進	担当課	企画経営課
事業内容	住み慣れた地域内での住み替えビジョン等を示し、モデルとなる質の高い高齢者向け住宅(サービス付き高齢者向け住宅等)の整備誘導を行います。加えて、質の高い高齢者向け住宅等への需要喚起、意識改革に努めます。				
27年度	評価	ライフステージに応じた今後の住まい方などに関する考え方を把握することを目的に、子育て世代(対象数1,500名/回答数634票)、高齢者世代(対象数1,500人/回答数1,036票)の住まいの意向調査を実施した。また、モデル地区における高齢者住宅等整備に向けた検討、事業用地の譲渡条件の整理などを行った。			
	今後の取組	事業用地の候補地である雇用促進住宅茅ヶ崎宿舍の譲渡に向けた所有者との協議、交渉を行う。また、用地の利活用に関する基本方針の策定や整備手法を検討する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	事業用地の候補地である雇用促進住宅茅ヶ崎宿舍の譲渡に向け、所有者との譲渡条件の詳細に関する協議、及び譲渡の際の財源確保のための協議を国、県と実施した。また、住み慣れた地域内での住み替えのための先進事例の調査をすると共に、用地の利活用に関する基本方針の策定準備を実施した。			
	実施して感じた課題	高齢期の住まいの選択肢について、高齢者に周知啓発すると共に、高齢者向け住宅を現実的な選択肢として選択できるよう、高齢者向け住宅が安心安全を提供すると共に、アフォーダブルな価格設定となるようサービスと価格設定のバランスを図る必要がある。			
	今後の取組	引き続き、所有者との譲渡条件の協議、財源に関する国、県との協議を行うと共に、良好な住宅の整備促進のモデル作りのための、雇用促進住宅の利活用基本方針の策定準備を実施する。また、高齢期の住まいにどのような選択肢があるかに関するセミナーを市民向けに実施する。			
	進捗状況	③予定より遅れている			
その他(自由記載)					

掲載ページ	88	事務事業名	市営住宅の整備(借上型市営住宅)	担当課	建築課
事業内容	住宅に困窮するファミリー世帯や高齢者のいる世帯等の居住の安定を確保するため、平成25年3月に策定した「茅ヶ崎市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、民間の土地所有者が建設した、バリアフリー対応等の良質な住宅を借上げ、計画的に供給していきます。なお平成32年度までにあと64戸の整備をおこないます。				
27年度	評価	平成27年度にUR都市再生機構から20戸の借り上げを行い、平成27年10月1日から供給を開始しました。			
	今後の取組	平成32年度までに計画目標の残り44戸の借り上げを目指し、UR都市機構と借り上げ協議等を実施していきます。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
28年度	評価	平成32年度までに計画目標の残り44戸を借り上げることを目指し、UR都市機構と借り上げ協議等を実施しました。			
	実施して感じた課題	借上予定戸数が多いため、UR都市機構の供給計画との調整に時間を要しました。			
	今後の取組	引き続きUR都市機構と協議を進めていきます。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			
その他(自由記載)					